

令和元年度 市民と議会をつなぐ会

実施報告書



令和元年7月17・22・24～26日・8月1・9日開催

発行：令和2年1月 北上市議会

～はじめに～

北上市議会では例年、市民の皆様の御意見を広く伺い、議会の活動を知ってもらう目的から、「市民と議会をつなぐ会」として、議会からの活動等の報告及び市民の皆様との意見交換会を行っています。

今年度は、昨年度で終了した市の「人口減少地域定住化促進事業費補助金」の交付対象だった市内7地区のほか、例年の同会への参加が少なかった若者世代の意見を聞くため、市内専門学校2校、子育て世代の団体3団体を対象に同会を実施しました。

会は大きく2部の構成で行いました。前半部では実施対象ごとに設定したテーマについて、議会から市の取り組みや議会での協議状況等を報告したほか、市内7地区においては当該地区での「人口減少地域定住化促進事業費補助金」に関する取り組みについて御紹介いただきました。前半部を踏まえ、後半部では、テーマに関する現状への評価や今後の課題について、参加者の皆様と意見交換を行いました。

この報告書では、

- ・会の開催状況
- ・参加者の構成比とアンケートの集計結果
- ・会当日の配布資料
- ・意見交換やアンケートでいただいた意見及び質問等
- ・質問等に対する議会からの回答

を御報告します。

目次

1.開催状況	1
2.参加者の構成比とアンケートの集計結果	
(1) 参加者の構成比	2
(2) アンケートの集計結果	3
3.当日の配布資料	5
(1) 市内7地区	6
(2) 専門学校	7
(3) 子育て世代	8
4.いただいた意見及び質問等	9
(1) 市内7地区	11
(2) 専門学校	37
(3) 子育て世代	49
(4) アンケートの自由記述欄	64
5.質問等に対する議会からの回答	69

1. 開催状況

次の日程及び班編成で実施しました。

(1) 市内7地区【テーマ：定住化促進に関する取り組みの成果と課題について】

開催日（R1）	時間	会場（各交流センター）	担当班
7/22（月）	18：30～	口　　内	2 班
7/24（水）		更　　木	3 班
		黒　　岩	1 班
		岩　　崎	4 班
7/25（木）		立　　花	1 班
7/26（金）		稲　　瀬	4 班
		和　　賀	2 班

(2) 専門学校【テーマ：北上に住みたいか・住み続けたいか】

開催日（R1）	時間	交流先団体	担当班
7/17（水）	15：00～	北上コンピュータ・アカデミー	2 班
8/1（木）	11：00～	専修大学北上福祉教育専門学校	3 班

(3) 子育て世代【テーマ：子育てしやすいまちについて】

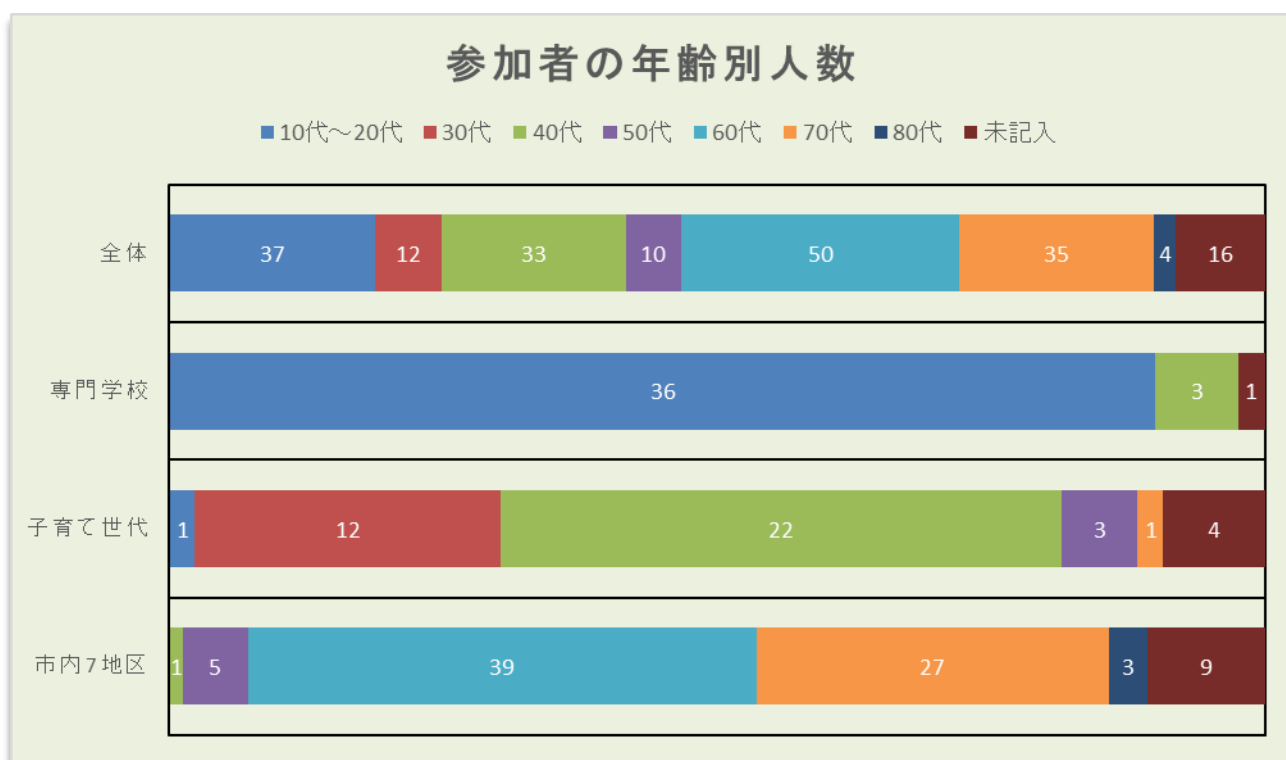
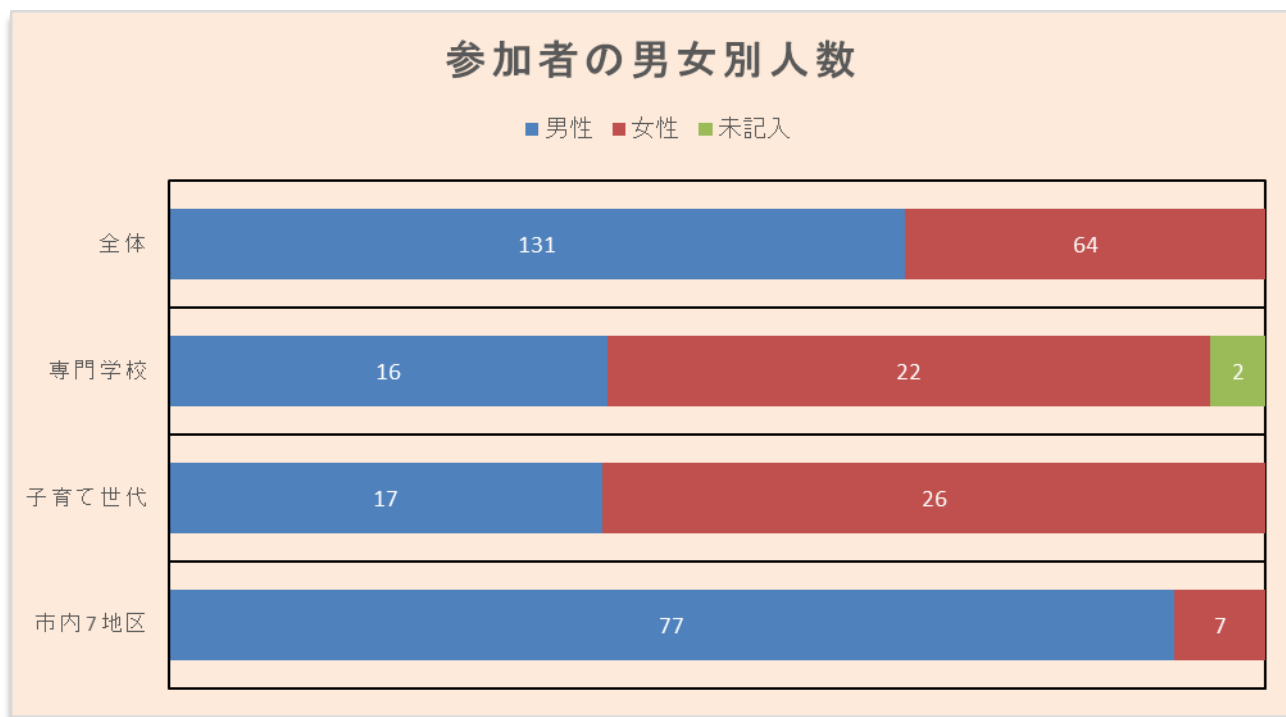
開催日（R1）	時間	交流先団体	担当班
7/22（月）	19：00～	北上市学童保育連絡協議会	4 班
7/25（木）	17：15～	北上市PTA連合会	3 班
8/9（金）	10：30～	きたかみ子育てネット等	1 班

	1 班	2 班	3 班	4 班
教育 民生	高橋 晃大	齊藤 律雄	三宅 靖	菊池 勝
	安德 壽美子	小原 敏道	及川 誠	星 敦子
産業 建設	梅木 忍	小田島 徳幸	熊谷 浩紀	高橋 穂至
	高橋 初男	—	高橋 光博	八重樫 七郎
	—	—	—	佐藤 重雄
総務	高橋 孝二	小原 享子	藤本 金樹	平野 明紀
	—	佐藤 恵子	武田 勝	鈴木 健二郎
	—	昆野 将之	—	—
	阿部 眞希男（議長） ※阿部眞希男議員は、議長のため常任委員会に属していません。			

◆ 都合上、対応議員に一部変更のあった地区があります。

2. 参加者の構成比とアンケートの集計結果

(1) 参加者の構成比



(単位：人)

(2) アンケートの集計結果

会場で実施した参加者アンケートの集計結果です。設問は以下のとおりです。

Q1.開催曜日について

Q2.開始時間について

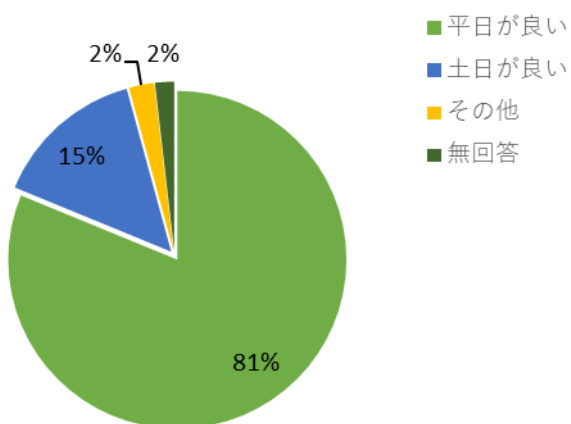
→Q2-2.具体的に何時頃がよいか

Q3.所要時間について

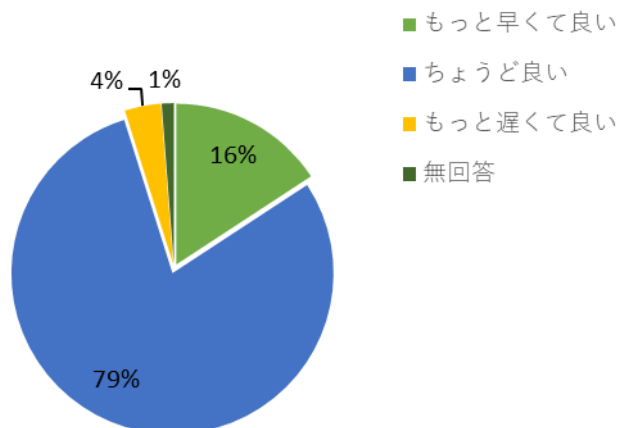
Q4.議員の説明について

Q5.意見交換のやり方について

Q1.開催曜日について

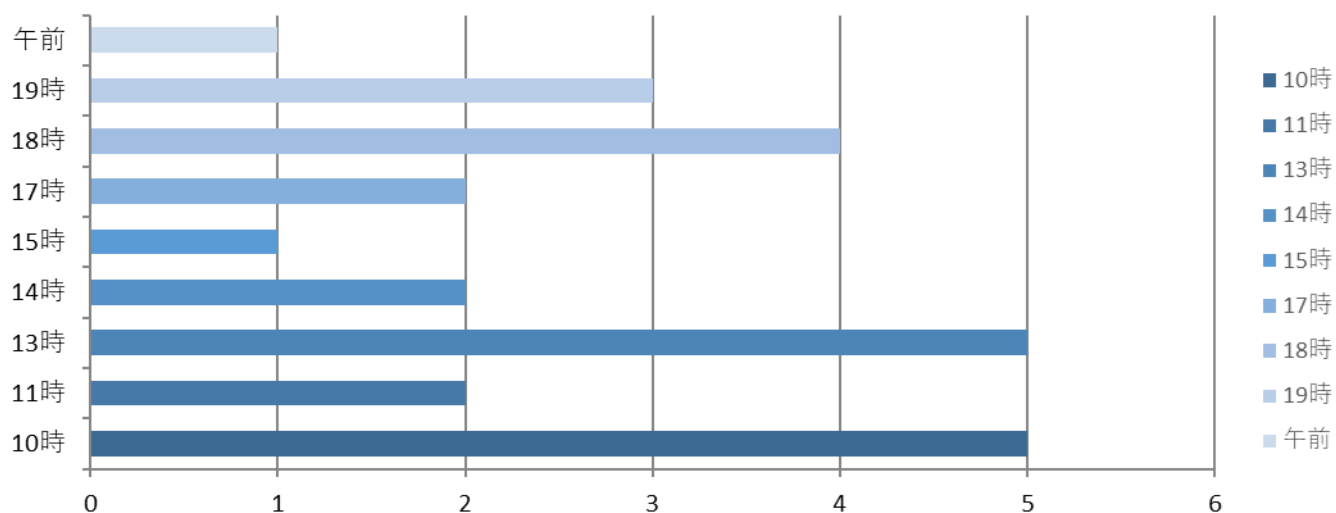


Q2.開始時間について

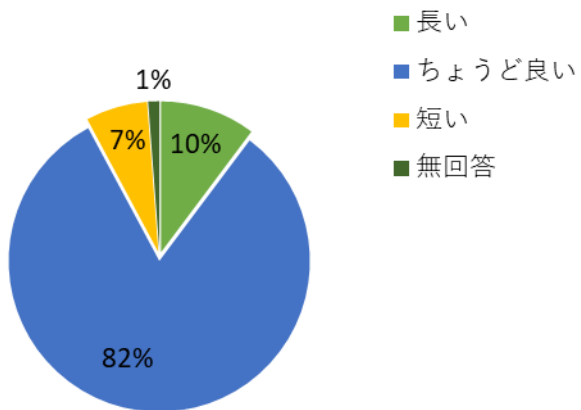


Q2-2.開始時間について何時頃がよいか（回答人数）

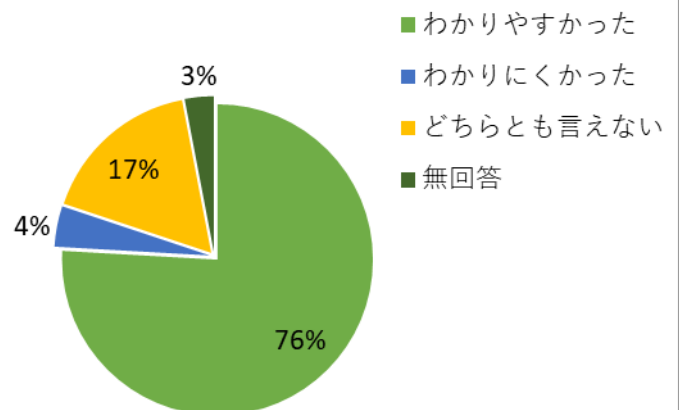
※自由記述



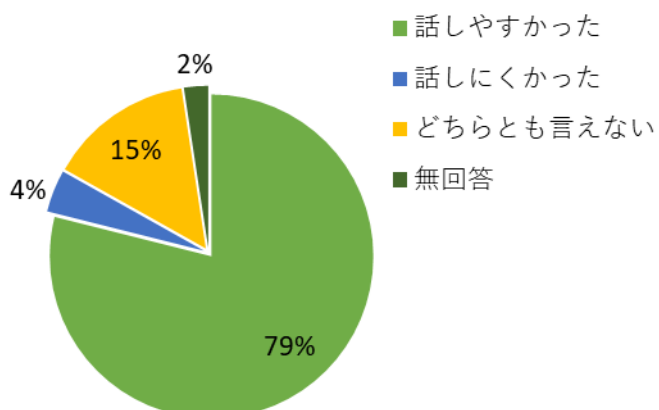
Q3.所要時間について



Q4.議員の説明について



Q5.意見交換のやり方について



◆アンケート自由記述欄への回答（一部抜粋）◆

- ・このような機会に色々な地域の話を知ることができて参考になった。
色々なグループで開催されて良くなっていくことにつながると良いと思います。
- ・つなぐ会の周知をもっとすること。
- ・もっと若い世代の参加が大事です。
- ・アパート助成より子育て助成を増やしてほしい。

☞ このほかのご意見等のまとめは64ページ

3. 当日の会場で配布した資料

市民と議会をつなぐ会では、実施対象ごとに下記のとおり設定したテーマについて、市の取り組みや議会での協議状況等を議員が報告しました。

●市内7地区「定住化促進への取り組みの成果と課題について」

(口内、更木、黒岩、岩崎、立花、稲瀬、和賀の各地区)

●専門学校「北上に住みたいか・住み続けたいか」

(北上コンピュータ・アカデミー、専修大学北上福祉教育専門学校)

●子育て世代「子育てしやすいまちについて」

(北上市学童保育連絡協議会、北上市PTA連合会、きたかみ子育てネット等)

☞次ページ以降には、この報告で使用した資料を掲載しています



(1) 市内7地区

テーマ「定住化促進に関する取り組みの成果と課題について」に関する北上市の取り組みや議会の活動状況を御報告します。

1 地域づくり・定住促進

(1) 人口減少地域定住化促進事業費補助金 (H30年度終了)

- < 期間 > 平成26年度から30年度までの5年間
- < 対象 > 平成3年の合併当時と比べて人口が減少した7地区
- < 内容 > 定住促進に取り組み地域づくり組織等に、1件につき3年間で350万円を上限に補助金を交付。
地域の就労の場の創出、U・I・ターン等の促進、交流人口の増加などを目的とした事業が行われた。

★議会の評価 (H30年度施策評価) …単発の取り組みでは効果が見込めない。地域の取り組みは長期的な評価が必要。新たに実施する事業は、その事業が次につながっていくように、取り組みを工夫する必要がある。

★議会での質疑 (2月通常会議)

- Q1. 補助金が終了するが、今後の対応は？
- A1. 令和元年度にこの事業も含めた地域への補助事業や協働の取り組みについて検証し、今後のあり方について検討する。

(2) 人口減少地域まち育て支援事業 (R元年度)

上記(1)の補助金対象だった7地区に対して、交付金を加算。7地区以外に平成3年より人口が減少した地区があれば対象に追加。

★議会での質疑 (6月通常会議)

- Q1. 昨年度までの補助金との関係は？
- A1. 昨年度までの取り組みの検証と並行して実施するものだが、定住化促進への補助という趣旨は変わらない。
- Q2. この事業の交付基準は？
- A2. これから策定する。地域が使いやすい制度にしたい。

(3) 子育て応援1億円プロジェクト (H29年度～R元年度)

子育て世帯の住宅取得や、親との同居のための住宅リフォームに対して補助金を交付(子育て世帯住宅取得等事業費補助金)。

★議会の評価 (H30年度施策評価) …定住促進・経済支援として成果が出ているが、長期的に実施するよう拡充が必要。

2 東芝メモリ(株)新工場の建設に関連する対応

2020年の量産開始に向けて工場建設が進められ、関連企業も続々と進出している。関連して、次のような事業を予定している。

- ・事務所等の確保などのため、北上駅東口の土地活用を計画
- ・きたかみ就労支援共同住宅支援事業
- ・住居の供給不足を解消し、労働者を受け入れる環境に改善するため、条件を満たす賃貸住宅等建設に補助金を交付する。
- < 期間 > 令和元年度10月からの3年間
- < 対象 > ①共同住宅等建設

立地適正化計画に規定する都市居住区域内、
都市・地域拠点(準拠点含む)、
都市計画用途地域内 のいずれかに該当するもの

- ②社員寮建設
- ③既存家屋の賃貸住宅転用リフォーム

★議会での質疑 (6月通常会議)

- Q1. 人口減少7地区への建設の補助率を厚くする考えは？
- A1. 要綱が固まったものではなく、変更の余地はあるが、今回の予算ではそこまで見込んでいない。今後の検討課題。
- Q2. 人口減少地域の定住化促進のため、投資すべき誘導策として力を入れるべきでは？
- A2. まずは北上に住んでもらう方を増やしたい。その後、結婚して世帯を構えるときに市内全域に土地を求めてもらう。定住化促進には総合計画の中で取り組みたい。
- Q3. 人口減少地域への誘導施策を別途考えるのではなく、この機会を捉えて誘導施策とするべきではないか？
- A3. 地域拠点も対象に含まれるという意味では誘導施策である。

【この事業を含む補正予算の採決結果】

「急激な人口増に対応する施策の一つとして必要」などの賛成意見や、「将来的に空室のリスクがある」、「就労者支援ではなく事業者支援であり公平性を欠く」など事業を削除する修正案が出され、賛否が拮抗。採決では可否同数となり、議長裁決で修正案が否決。原案が可決された。

北上市の取り組みや議会の活動について

テーマ「北上に住みたいか・住み続けたいか」に関する北上市の取り組みや議会の活動状況を御報告します。

令和元年〇月〇日
市民と議会をつなぐ会 配布資料



1 雇用・産業・企業立地

(1) 大学生等インターンシップ強化事業

北上市内の企業でインターンシップを行う学生に対し、市内の移動に必要なタクシー料金を助成。



★議会の評価（H30年度施策評価）…求職者が企業を理解する重要な機会であり、今後も継続すべき。ただし、どれくらい受入先企業への就職につながっているか、把握が必要。

(2) 北上市「食のつながり」認証制度

生産者・販売店・飲食店・加工業者のこだわりや思いが、消費者までつながる取り組みを認証する制度。「kitakami gohan(きたかみごはん)」の名称で、SNSなどで情報を発信している。



★議会での質疑（R1年度予算審査）…「制度の現状と課題は？」との問いに、市から「順調に件数を伸ばしており、生産者と消費者の交流イベントも好評。今後は認証飲食店の案内マップ作製に取り組む」との答弁があった。

(3) 東芝メモリ（株）新工場建設に関連する対応

2020年の量産開始に向けて工場建設が進められ、関連企業も続々と進出している。それに関連して、次のような事業を予定、または実施している。

- ・北工業団地（黒沢尻工より北側のエリア）の拡張、道路整備
- ・住居の供給不足を解消するため、条件を満たす賃貸住宅等建設に補助金を交付予定

★議会での審議（6月通常会議）…「急激な人口増に対応する施策として必要」などの賛成意見、「将来的に空室のリスクがある」、「事業者支援であり公平性を欠く」などの反対意見が出され、採決では可決多数となり、議長の判断で可決した。



・事務所等の確保などのため、北上駅東口の土地活用を計画

★議会での審議（6月通常会議）…「駅西口活性化との整合性は？」との問いに、市から「西口は将来的に活性化を図るが、今のところ計画はない」との答弁があった。

2 福祉・子育て支援

(1) 介護人材の確保

市内の養成施設の学生に対する補助金（介護人材養成補助金）を交付したり、市内の介護事業所で働く職員の奨学金返還の一部を補助（介護人材確保推進補助金）している。



(2) 新たな保健施設と子育て支援施設の整備

市役所の向かい側にある、老朽化した健康管理センターに代わり、雨天時や冬期町などに子どもたちが遊べる室内遊び場を併設した保健・子育て複合施設が、ツインモールプラザ西館1・2階に令和2年度末にオープン予定。

★議会からは…子育て関連の相談だけでなく、家族全体の様々な困りごとに対応できる総合相談・支援体制についての提言を整備計画に活かすよう、市側に意見を伝えた。

(3) 子育て応援1億円プロジェクト

子育てしやすい環境づくりのため、次のような事業を行っている。

- ・保育料の軽減を拡充
- ・新生児聴覚検査費用、産後健診費用を助成
- ・子育て世帯の住宅取得や、親との同居のための住宅リフォームに対して補助金を交付



★議会の評価（H30年度施策評価）…定住促進・経済支援として成果が出ているが、長期的に実施するよう拡充が必要。

3 地域づくり・定住促進

(1) 人口減少地域定住化促進事業費補助金（H30年度終了）

定住を促進する事業に取り組み地域づくり組織等に補助金を交付。地域の就労の場の創出や、Uターンへの促進、交流人口を増やすための事業が行われた。これに代わるものとして、今年度、人口減少地区に対する交付金を加算する事業（人口減少地域まち育て支援事業）を計画している。

北上市の取り組みや議会の活動について

テーマ「子育てしやすいまちについて」に関する北上市の取り組みや議会の活動状況を御報告します。

令和元年〇月〇日
市民と議会をつなぐ会 配布資料



1 子育て家庭等への支援

(1) 医療費助成・予防接種助成

子ども・妊産婦・ひとり親家庭の医療費を助成することで経済的負担の軽減を図っている。今年8月からは、子どもの医療費の現物給付の対象者が、これまでの「0歳～未就学児」から、「0歳～小学生」に拡大する。

★議会の評価（H30年度施策評価）…所得制限や自己負担があり、それらを廃止済みの自治体との格差がある。県内他市町村との格差是正のため拡充が必要。

(2) 新たな保健施設と子育て支援施設の整備

市役所の向かい側にある、老朽化した健康管理センターに代わり、雨天時や冬期間などに子どもたちが遊べる室内遊び場を併設した保健・子育て複合施設が、ツインモールプラザ西館1・2階に令和2年度末にオープン予定。



★議会からは…子育て関連の相談だけでなく、家族全体の様々な困りごとに対応できる総合相談・支援体制についての提言を整備計画に活かすよう、市側に意見を伝えた。

(3) 子育て応援1億円プロジェクト

子育てしやすい環境づくりのため、次のような事業を行っている。
・保育料の軽減を拡充
・子育て世帯の住宅取得や、親との同居のための住宅リフォームに対して補助金を交付



★議会の評価（H30年度施策評価）…定住促進・経済支援として成果が出ているが、長期的に実施するよう拡充が必要。

・新生児聴覚検査費用、産後健診費用を助成
・産後ケア事業を実施

★議会の質疑（6月通常会議）…「一般質問にて、「事業の拡充は？」との問いに、「悩みがある母親同士の仲間づくりが可能なディスプレイ型の実施を新健康管理センターの開設に合わせて検討している」との答弁があった。

2 子育てと仕事の両立の支援

(1) 延長保育・一時保育

延長保育（保護者の不規則勤務や残業等へのため19時までの保育利用）、一時保育（仕事・病気・リフレッシュなどの理由による一時的な保育利用）のニーズに対応。

★議会の評価（H30年度施策評価）…受け入れ実績が計画を上回っており、増加するニーズに対応するため、全国での実施となるよう拡充が必要。

(2) 学童保育

放課後児童の健全育成のため、学童保育所に対し運営費を助成。共働き家庭への支援として継続していく。

★議会での調査（H30年度）…教育民生常任委員会で、移転計画中だった江釣子学童保育所を視察し、建物の状況や移転予定場所を確認。市側にも移転内容についてヒアリングを実施。

(3) 病児保育

病気の回復期にある児童を保育。インフルエンザにかかった場合であれば、熱が下がった後の登園禁止期間に利用できる。

★議会での評価（H30年度施策評価）…病児保育のニーズに応えるため、継続して実施するとともに、病児保育（病気治療中の子どもを預かる）ニーズに応える事業も検討すること。

3 小学校の統合

(1) 立花小・星岩小・四間小

3地区での協議の結果、新校舎を立花地区に建設することで合意。令和5年4月開校予定。

(2) 笠松小・和賀西小

統合に向けて、地域や保護者の代表者で構成する会で協議したが、建設場所について意見が分かれ、統合は困難と判断。笠松小単独で、堅川田運動場に建て替えとなった。令和3年度開校予定。

4. いただいた意見および質問等

次のページからは、市民と議会をつなぐ会の意見交換でいただいたご意見やご質問等を、意見交換の団体ごとにご紹介します。

また、アンケートの自由記述欄でいただいたご意見等を一覧でご紹介します。

===== < ご意見等の分類について > =====

1	教育、福祉、子育て
2	生活環境、衛生
3	道路、（公共）交通
4	商業、産業、農業
5	地域、ひと
6	自然、観光、イベント関連
7	まちの便利さ
8	（公共）施設
9	施策関連（定住化促進）
10	施策関連（その他）
11	その他

意見交換でいただいたご意見等は、左記の分類ごとに掲載しております

- 今回の意見交換は、ワークショップ（またはワールドカフェ）方式により、以下の手順で行いました。

※参加者 5 ～ 6 名、議員 1 ～ 2 名でひとつのグループを作ります。

- ① テーマに関する設問について、議員以外の参加者が一人ずつ意見を発表します。
- ② 次の設問についても同様に、参加者が意見を発表します。

《 ワorkshop方式 》

- ③ ①～②を繰り返します。
- ④ 最後に、全体で各テーブルの意見発表を行い、参加者全員で情報を共有します。

《 ワールドカフェ方式 》

- ③ テーブルを移動します。議員は残り、それ以外の参加者はなるべくバラバラのテーブルに移動します。
- ④ 新しいメンバーに、議員が出された意見を紹介し共有します。
- ⑤ ①～④を 2、3 回繰り返します。
- ⑥ 最初のテーブルに戻り、他のテーブルで出されていた意見や気づきを共有します。

【次頁以降の見方】

相手先地区名・団体名や参加人数等

口内地区

<令和元年 7 月 22 日開催 参加者 18 名>

質問 1. これまでの定住化促進への取り組みについて、良い取り組みだと評価できる点は何ですか？

5. 地域、ひと

- ・サポーターの意向・把握ができて、実効性のある取り組みへ繋がった。
- ・サポーター発掘。99 名は多い。
- ・発掘作業の発案を評価する。
- ・ふるさとサポーターは良い事業（PR してくれる）。
- ・農業をやりたい人が来ている（地域おこし協力隊）。

設問に対するご意見を分類しています

(1) 市内7地区

テーマ：

**『定住化促進への
取り組みの成果と
課題について』**

口内地区

＜令和元年7月22日開催 参加者18名＞

質問1. これまでの定住化促進への取り組みについて、良い取り組みだと評価できる点はなんですか？

5. 地域、ひと	・ サポーターの意向・把握ができて、実効性のある取り組みへ繋がった。
	・ サポーター発掘。99名は多い。
	・ 発掘作業の発案を評価する。
	・ ふるさとサポーターは良い事業（PRしてくれる）。
	・ 農業をやりたい人が来ている（地域おこし協力隊）。
6. 自然、観光、イベント関連	・ 口内の現状を出身者に知らせたことが良かった。
	・ 口内ふるさと会（東京で年1回）。
	・ ふるさと会は浮牛城まつりで来ている。
8. （公共）施設	・ 地域の資源の有効活用ができる（休養センター）。
	・ 休養センターの取り組み良い。
	・ 休養センターの活用はいい。
9. 施策関連（定住化促進）	・ 補助事業に評価する。
	・ 事業を見直し効果が出るように方向転換した。
	・ （口内地区の取り組みについて）事業の内容を変更したこと。
	・ 定住促進と地域づくりが合致しない点。
11. その他	・ ノーコメント。



質問 2. これまでの定住化促進への取り組みについて、改善できると感じた点や、こうしたらもっと良かったと感じた点はなんですか？

1. 教育、福祉、子育て	・ 小学校の存続。
3. 道路、（公共）交通	・ 免許証返納について、手当少なすぎるので利用できない。
5. 地域、ひと	・ 未利用地（田山含む）が増える。 ・ 自由に使える車がない（公民館、老ク、学校、婦人団体）。 ・ 地域の発展のPR、住みやすさ。 ・ 20代、30代の意見を聞く。 ・ 地域おこし協力隊（九条ねぎ作り）ラーメン屋（通勤中）交流がない。 ・ 来訪する地域外の人々の気持ちを尊重して対応。
6. 自然、観光、イベント関連	・ ふるさと会の拡充。草の根的に。
7. まちの便利さ	・ 住みやすさの向上策。交通（公共的）、買物（店）、金融（JA）。 ・ 日常品の買い物の店がない。
8. （公共）施設	・ 休養センターの触れ込みについて、多数利用できる様に。
9. 施策関連（定住化促進）	・ 定住の事業の予算の一定化。5年間制限を撤廃。 ・ 事業は長期すぎる。 ・ 事業予算が少額である。 ・ 事業知識がない。 ・ この事業に対して継続して長く補助金を出し続けてもらいたい（結果が見えるまで）。 ・ 定住するためのPRをもっと。 ・ 人口減少地区へ住宅建設を誘導してほしい。
10. 施策関連（その他）	・ 口内にもアパートで人口増。空地利用ができるようにしてほしい。
11. その他	・ 継続は力なり。 ・ ギャンブルに強い引き手を探す。

質問3. 改善点を解消するためには、誰が何をすればよいと思いますか？

1. 教育、福祉、子育て	・ 学校の存続策として特別学科強化策に取り組み、特徴を出す等。
	・ 全ての学校で特色のある学校に限りバスで希望する学校へ入れるように。
	・ 補助金を増やし地域の子育てを充実させる。
3. 道路、（公共）交通	・ 市で各種団体が気軽に利用できる車を教えてほしい。
	・ 車のブレーキ安全装置の補助金を出す。
4. 商業、産業、農業	・ 特産品の開発（6次化）。地域で特産品を作る。
5. 地域、ひと	・ ふるさとサポーターの意見を集約して対応する。
	・ 地域のありのままを、ありのまま。
6. 自然、観光、イベント関連	・ （地域おこし協力隊と交流するために）イベントに誘う。
7. まちの便利さ	・ 口内にATMは残してほしい。通帳の出入代行出張サービス（行政でできないか？）。
	・ 公共料金支払い含むコンビニ設置補助（市、行政）。
8. （公共）施設	・ （休養センターの活用について）グリーンツーリズムや都会の人が宿泊。都会の子供は虫が怖くて家では寝られないので、都会から子供（孫）来たら宿泊させたい。
	・ （休養センターの活用について）イベントをすればいい。
	・ （休養センターの活用について）田舎体験、草刈体験、農業体験者の宿泊先。
	・ 休養センターは地元の人も使えたらいい。
9. 施策関連（定住化促進）	・ 共同住宅補助金の減少地域への重点割当等誘導策。
	・ 事業に対して体験する。よって改善策が新たに出る。
	・ 事業に見合った期間予算を計上するように改善する（目的の明確化）。
	・ 基本の計画を立案して実施する。
	・ 事業計画について、地域と行政との綿密な打ち合わせのうえ進めれば、効果のある事業ができる。
	・ 受入の条件を整える。
	・ 田舎暮らし、農業体験希望者の交通費の一部負担をする。
10. 施策関連（その他）	・ 農地転用の許可基準の見直し（50a→10aなど）
	・ 農振地域の解消。
11. その他	・ 草刈り免許を出す。
	・ 情報をこと細かに沢山入手することに精進する。

その他、ワークショップで出たご意見

3. 道路、（公 共）交通	・ 市道も草だらけ。 ・ 市道の舗装をしてほしい。
5. 地域、ひと	・ 交流センター職員になる人がいない。賃金をあげてほしい。 ・ 夏（5月～10月）草刈り、冬は雪払い。 ・ 普段は空き家で夏のみ宿泊する家もある。 ・ 人がすくないので（地域の）役員がすぐ来る。 ・ 地域の役が多い。
10. 施策関連 （その他）	・ 空き家が増える。
11. その他	・ 人口は減るだけ。



更木地区

＜令和元年7月24日開催 参加者11名＞

質問1. これまでの定住化促進への取り組みについて、良い取り組みだと評価できる点はなんですか？

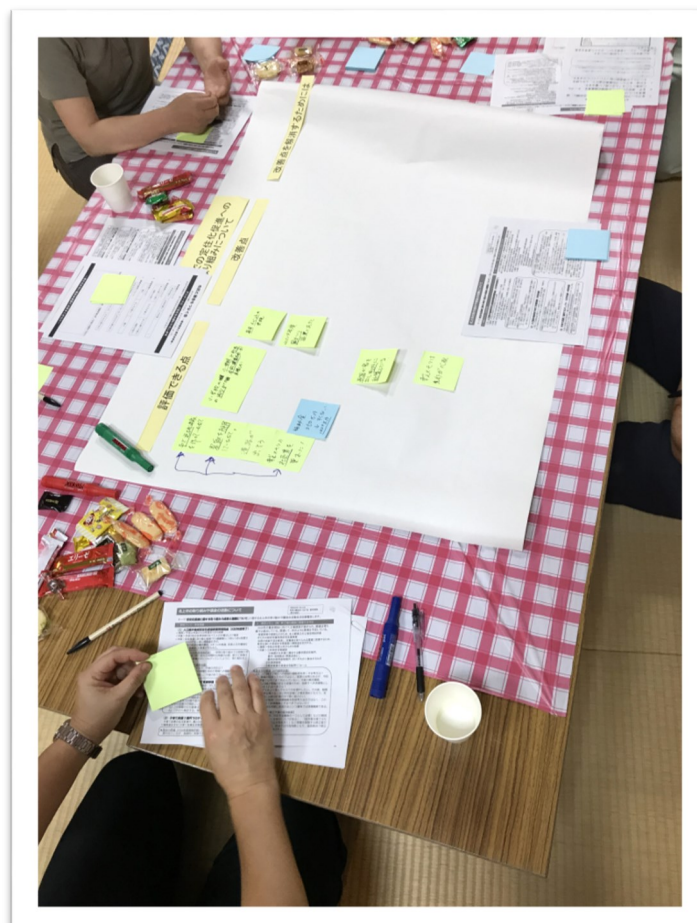
5. 地域、ひと	・ 2～3家族増えた。
9. 施策関連 (定住化促進)	・ 取り組みをしていること。
10. 施策関連 (その他)	・ 空き家対策を始めたこと。

質問2. これまでの定住化促進への取り組みについて、改善できると感じた点や、こうしたらもっと良かったと感じた点はなんですか？

1. 教育、福祉、子育て	・ 小学校の生徒の減少が問題。
3. 道路、(公共) 交通	・ バスなど増やす。
5. 地域、ひと	・ 長男が家を出て町外に新築している。
9. 施策関連 (定住化促進)	・ 補助金350万円は少ない。
	・ 定住化のPR不足。
	・ 他地区からの客に定住化促進がわかりにくい、わからない。
10. 施策関連 (その他)	・ 空き家に若い方が入居した。今後の交流が期待されるが、光ケーブルなくガッカリしていた。
	・ 空き家の有効活用ができていないと感じる。
	・ 空き家をもっと利用する。
	・ 空き家の仏壇は？
	・ 補助事業の入っていない区域の農振除外。

質問 3. 改善点を解消するためには、誰が何をすればよいと思いますか？

5. 地域、ひと	・ 入ってくれる人を受け入れる体制（対応）を。
6. 自然、観光、イベント 関連	・ PRを！（魅力発信）
	・ 毎月イベントの実施。
	・ さらに婚活行事を推進する。
	・ 更木のよさをPRすべき。
9. 施策関連 （定住化促進）	・ 補助金を1000万円に。
10. 施策関連 （その他）	・ 農振を解除していただく。
	・ 市で宅地造成を作っていただく。
	・ 外国人労働者の受入住居の建設。
	・ 地域計画を中でまとめる。一括してほしい。
	・ 空き家のPRをいろいろな方法で。



その他、ワークショップで出たご意見

1. 教育、福祉、子育て	・ 遺跡が出そう。
	・ 一人暮らし人が施設に入る前に、市が介入し方向付。
2. 生活環境、衛生	・ 古いUターン組ですが、更木は住み良い。
	・ 更木は雪が少なく住みやすい。
4. 商業、産業、農業	・ 東芝メモリは先行きが心配。
	・ 東芝メモリの社員寮を更木に！
	・ 産直できてからいい。更木に来る人が多くなった。
	・ 地元産が少ない（野菜）。
	・ 地元産野菜が少ない要因を調査する。
	・ ふるさと納税野菜作り。
	・ 東芝のデメリットはないのか。交通事故等・・・。
5. 地域、ひと	・ 小学校と町民合同運動会が素晴らしい。
	・ 人のつながりが濃い。防災体制。
6. 自然、観光、イベント関連	・ 2019年度夏祭りは盛況であった。
	・ 地区外からの客が増えた。
7. まちの便利さ	・ お屋のできる食堂の存在。
	・ 食堂ができていい。
8. （公共）施設	・ ふれあいセンターが常時にぎわい。
	・ （ふれあいセンター）東芝メモリでランチがにぎわっている。
10. 施策関連（その他）	・ 空き家に住むとしたら、上下水完備。
	・ 県道沿いに都市計画の色ぬり（農振解除）。

黒岩地区

＜令和元年7月24日開催 参加者11名＞

質問1. これまでの定住化促進への取り組みについて、良い取り組みだと評価できる点はなんですか？

5. 地域、ひと	・ 黒岩のパンフレットを作成したこと。
	・ 地域パンフレットは大変良かった。
	・ パンフレットの作成。好感持てた。地域を知ってもらうことが大事！
	・ 黒岩地区として、積極的に活動をしていることはPRにつながる。
	・ 黒岩の良い点をパンフにまとめたので、地区外の人にPRできる。

6. 自然、観光、イベント 関連	・ 東京ふるさと会と交流したこと。
	・ ふる里会がいいと思う。
	・ 婚活事業に取り組んだこと。
	・ 婚活への取り組み。
	・ 婚活進めること大変効果的だと思う。
	・ 食に興味がある人は沢山いるのでピザ作りなど若い人には受けると思った。
	・ 婚活事業に取り組んだのいい。

9. 施策関連 (定住化促進)	・ 年次ごとに計画実行している。
--------------------	------------------

11. その他	・ 結果を求めなかった点。
---------	---------------

質問2. これまでの定住化促進への取り組みについて、改善できると感じた点や、こうしたらもっと良かったと感じた点はなんですか？

4. 商業、産業、農業	・産直の活用化。ランチなどの充実化。
	・手作りなどの販売食など（産直）。
5. 地域、ひと	・パンフレットを地区民に配布し、関係者等にPRしてもらう。
	・地域外でのPRをしてみてもいい。
	・パンフレットはどこにある？
	・パンフレット、目に触れる場所がない感じ！
	・地図（エリア）場所が分からない人もいます。
	・今、東芝の仕事があるので、もっとPRが必要だと思う。
	・周知の手段、きめ細かく。
	・良いこと（婚活事業等）を沢山しているが、黒岩地区ばかりでなく市内の方々にPRした方がよい。
	・黒岩という地域のよさをもっと明確にしてほしい。景観、食物、建物、人物など。
	・黒岩地区からPRが必要ではないか。住民からのPR。
	・地区住民から、その知人・友人のつてを辿ってもっとPRできる。
	・せっかくパンフを作ったのに、地区内住民にほとんど知られていない。地区住民にも全戸配布する。
	・地区内外へのアピール。
	・コミュニティFMとケーブルTVを活用してPRする。
	・ブログ、Facebook、インスタグラムを活用してPR。
6. 自然、観光、イベント関連	・婚活の回数を多くする（スキー）。
	・東京ふるさと会の会員を黒岩のまつりに招待する。
	・ふる里会への人員を多くする。
	・婚活のあり方を、地区内からアイデアを募集する。
	・婚活は運営側が大変だと思う。
	・「お滝さん」ツアーを利用して、地域のスポットを知らせる。
	・婚活活動は、他地区でもやっているのでも独自性がない。黒岩の里山の自然を活かした婚活とした方がよい。
	・自然・農作業・里山大好き女子などにターゲットを絞った婚活を展開する。
	・黒岩の多三郎山荘を活用したイベントの開催。
	・ホテルの鑑賞会に市民を呼び込む。
	・若い世代の人を参加させる集まりを開く。
	・お滝さん、まんなか広場との連携。
10. 施策関連（その他）	・人口減少これからも続く。地区から流出人口の対策が必要。
	・住民の増減の数字を明らかにしてほしい。

質問 3. 改善点を解消するためには、誰が何をすればよいと思いますか？

1. 教育、福祉、子育て	・ 子育てママのランチ会。市の子育て支援の部署の支援。
4. 商業、産業、農業	・ 産直の活用。ランチ、占いコーナー、カフェらしくするなど子連れもOKに。
5. 地域、ひと	・ 地区の女性団体など公民館などの活動を通して考える。
	・ 地域住民（特に若い女性たち）の力を引き出す。
	・ センターでやってることを可視化。
	・ 古民家活用。

-----議会・行政に期待すること-----

3. 道路、（公共）交通	・ 中央橋と日高見橋の間に1本の橋をかける。
9. 施策関連（定住化促進）	・ 事業の費用を捻出する。
	・ 市が特別予算化する。
10. 施策関連（その他）	・ 農振地区を川東・川西逆にする。

-----地域の取り組みに期待するもの-----

5. 地域、ひと	・ 祭りにあわせる（お滝さん、芸農まつり）、PR。
	・ 全世帯にもパンフを配る。
	・ パンフレットを地区民に配布する。
	・ 交流センターが、ブログやInstagramが得意な人を何人か任命して、情報発信してもらう。
	・ センター情報の発信がより多く必要。
	・ リーズナブルにパンフを作成。
	・ 交流センターで黒岩のパンフを全戸配布して、それぞれ友人・知人にPRしてもらう。
	・ 交流センターが手伝う。

-----地域の取り組みに期待するもの-----

6. 自然、観光、イベント関連	・ 地元で、クラス会・同好会を開催する。
	・ 昼食会・ランチ会を開催して、若妻・女性を活用。
	・ 黒岩の若いママさんたちが集える会を立ち上げる（元・若いママさんたちが）。
	・ 交流センターで多三郎山荘にはたらきかけてコラボ企画を実施する。
	・ 婚活は、相談所などと連携しては。
	・ 婚活の回数を増やす。
	・ 婚活の方法ややり方を募集する。
9. 施策関連（定住化促進）	・ 他からの移住者の意見を聞く会を開催する。
	・ 交流センターを中心に、プロジェクトチームを発足させて、活動を活発化する。

その他、ワークショップで出たご意見

4. 商業、産業、農業	・ 沢目のバナナ（名産）。
9. 施策関連（定住化促進）	・ 事業（対象）について、どの様に利用されたか不明。
	・ 北上市に勤務する方の意見は聞かないのか（アンケート等）。
	・ 事業成果の具体的効果はあったのか。
	・ 東芝メモリに限定した対応で良いのか（誤解の元ではないか）。

岩崎地区

＜令和元年7月24日開催 参加者16名＞

質問1. これまでの定住化促進への取り組みについて、良い取り組みだと評価できる点はなんですか？

1. 教育、福祉、子育て	・ 交流センターと保育が近い。とても良い。
2. 生活環境、衛生	・ 静かで良いです。
3. 道路、（公共）交通	・ コミュニティバスがようやく始まったのは少し前進。
5. 地域、ひと	・ 虹色の会の活動がい～よ！
	・ 虹色の会のメンバーの働き、若い力はすばらしい。
	・ にぎわいを生み地域の活性化が図られている。
	・ 参加している子ども達にとっては「地元愛の醸成」につながっている。
	・ 地域の活性化と、地域が明るくなった。
6. 自然、観光、イベント関連	・ 青年会の人数が増えている。
	・ 自然環境が良い。
9. 施策関連（定住化促進）	・ 虹色フェスタ。東京での知名度アップ。
	・ 人口減少地区に特化したのが良かった。
	・ 補助金事業を継続してきたこと。
	・ 金額も3年間で350万は思い切った事業ができる。
	・ 定住促進についての補助金、良かったことと評価できる。
	・ 額は別にして、人口減少地域への助成制度は評価できる。

質問2. これまでの定住化促進への取り組みについて、改善できると感じた点や、こうしたらもっと良かったと感じた点はなんですか？

1. 教育、福祉、子育て	・ 子ども園に地元の子どもが入れないのはどういうことか！
	・ 岩崎認定子ども園に入園申請したが、他の保育園に手続するようと言われた。
	・ 学校教育で、地域に対しての今後の取り組みを協議してもらう。
2. 生活環境、衛生	・ 建物（家）が建てられない。
3. 道路、（公共）交通	・ 道路狭い、悪い。
4. 商業、産業、農業	・ 農業のやり手がいなくなってしまった。
	・ 農業振興地域なのに農業（水田）で食えない。
	・ 周辺地域に、魅力ある雇用の場が少ない。
5. 地域、ひと	・ 2世帯に嫁ができない。
	・ 環境に合った（希望）人がいない。合わない人が来なくていい。
	・ 地域に若者が魅力を感じていない。
	・ 地域より会社・仕事の交流が大事。
	・ 地域の魅力を発信していない。
6. 自然、観光、イベント関連	・ 雪が多い。
	・ 年々盛大になってきているが、地域全体のイベントとはなっていない。
	・ 浅草の成果。評価がない、されていない。
	・ 行事への参加者が固定化の傾向にある。
7. まちの便利さ	・ 遊び場、交流するところがない（若い人）。
8. （公共）施設	・ 周辺地域に、魅力ある施設が少ない。

9. 施策関連 (定住化促進)	・ 他地区でも大きなイベントができる支援。
	・ 補助金制約で飲食とも使用可にしたい。
	・ 成果が不明（補助金の）。
	・ 定住化促進事業補助金、今後も継続。
	・ 人口減少は期限のないものだから、期限のある補助金はいかがなものか。
	・ お金と条例と一体で行わないと機能しないのでは？
	・ 市が提言するあじさい型と定住化の施策がリンクしない。
10. 施策関連 (その他)	・ 空家が多い。
	・ 住宅を建てようとしても、農振地域のため宅地転用ができない。



質問3. 改善点を解消するためには、誰が何をすればよいと思いますか？

5. 地域、ひと	・ 民間のコーディネーターを増やす。
	・ 全地区民が参加できる取り組み（システム）が必要。
6. 自然、観光、イベント関連	・ 市や交流センターその他で、地方で企業や新しいことをやっている人の講演、勉強会。
9. 施策関連（定住化促進）	・ 若者を囲い込むのではなく、寄ってくる型。あるいは外にいても連携が取れる型もあるのでは。
	・ 活性化の中に高齢者活用や参加は考えていないのか。（西和賀の例）

-----**-議会・行政に期待すること-**-----

1. 教育、福祉、子育て	・ 地域の人であれば地元のこども園に必ず入園できる様にする。
	・ こども園の入園ルールで、人口減少地区は必ず入れる特例を設ける。
	・ 地区に住んだら、優先に保育園（幼稚園）に入れるようにする。
	・ 待機児童の解消。
	・ 花巻との住民福利厚生差別化。
3. 道路、（公共）交通	・ 除雪のヘルパーさん。
	・ 交通網。おに丸くんのもう少し細かく動いてほしい。
4. 商業、産業、農業	・ 職種が少ない。高い給料は都市部へ集中。
5. 地域、ひと	・ 事業を推進する職員を増す。
	・ センター職員の増員。地域づくり担当3名体制。
	・ 高齢者と若い人、子どもと一緒に活動したい。
	・ 外国人雇いPRする。
9. 施策関連（定住化促進）	・ 新たに呼び込むのは至難の業。子どもから青年まで出ていかない施策も。
	・ 長い期間での補助金支援を考えてほしい。
	・ 定住化補助金は5年毎に実施していただきたい。

10. 施策関連 (その他)	・ 宅地造成しやすくする。
	・ 工業団地だけでなく、周辺地域に誘致する助成制度や特区的なものをつくる。
	・ 農振地域を外し、ベッドタウン化を進める。
	・ 農業地域の指定見直し。住宅を増やす。
	・ 市が人口減少地域の農振変更を強力に進めてほしい。工業用地のみを優先している。
11. その他	・ 議会において、定住化に特化した組織をつくるべき。
	・ 自治体の組織強化。

-----**地域の取り組みに期待するもの**-----

4. 商業、産業、農業	・ 農業（水田）以外の農業をやらないと増えない。
5. 地域、ひと	・ 家族の後継者はしがらみを持たないで話し合いを持ち。
	・ ウーバー、民泊、BnB（ベッド&ブレイクファスト）などの取り込みを。市がなんとかするのはではなく民活で支える。
	・ 地区をアピール。治外に向けて！
	・ まずは高齢者、女性、子どもたちがこの場に参加する。女性、子どもの参加者を増やす。

その他、ワークショップで出たご意見

9. 施策関連 (定住化促進)	・ 定住化ってどういうこと？言葉が難しい。
	・ 北上市の定住化とは、どういうことを言うのか？
10. 施策関連 (その他)	・ 夏油リゾートエリアへの投資と定住についての考えは？
11. その他	・ わかりやすい議会に。
	・ 議会の取り組みについての報告が、文章が多すぎてわかりにくい。

立花地区

＜令和元年7月25日開催 参加者19名＞

質問1. これまでの定住化促進への取り組みについて、良い取り組みだと評価できる点はなんですか？

1. 教育、福祉、子育て	・ 子どもの医療と補助。
	・ 子育て事業・行事の取り組みが効果上がっている。
	・ 立花の活動（子育て支援）評価できる。
3. 道路、（公共）交通	・ コミュニティバス「おに丸号」。
5. 地域、ひと	・ 「子どもを守る会」には敬意を表します。
	・ 世代間交流がすばらしい。
8. （公共）施設	・ 素敵な公園が多い。

質問2. これまでの定住化促進への取り組みについて、改善できると感じた点や、こうしたらもっと良かったと感じた点はなんですか？

2. 生活環境、衛生	・ 宅地環境が悪い。
3. 道路、（公共）交通	・ おに丸号の利用促進。
	・ おに丸号のコース改善が必要。
5. 地域、ひと	・ コミュニティーの場所が必要。
	・ 市外、県外者を受け入れる意識が足りない。
11. その他	・ 立花の自然や展勝地などの公園管理のプロが市職員にいない。

質問 3. 改善点を解消するためには、誰が何をすればよいと思いますか？

5. 地域、ひと	・ 地区民と移住者の融和を図ること。
6. 自然、観光、イベント 関連	・ 展勝地の遊歩道の活用（雑草地になってる）。

-----議会・行政に期待すること-----

1. 教育、福祉、子育て	・ 子育て世代が直接助かる援助がほしいのではないかな。
	・ 子育て支援事業について、ハード補助だけでなくソフトへの補助も。
	・ 子育て支援に関する相談事業。
	・ 若い方々の考えは子どもの教育を大事にしている人が多いので、学校規模などの教育環境の充実が必要である。
	・ 子育ての環境整備に力を入れてほしい。
3. 道路、（公共）交通	・ インフラの整備。まずは下水道100%完成し、住もうと納得させる。
	・ 更木・黒岩のおに丸号を及川医院へ（ルート）。
	・ インフラ、下水道。
9. 施策関連 （定住化促進）	・ 市外からの定住人口を増やすため、宅地の安価な提供と住宅建設の補助金を、他市町村からの就労者に直接的な支援にすべき。
	・ 人口減少地域限定の市直営の団地造成または市内の不動産開発業者への補助。
	・ 中長期的補助制度を確立する必要がある。
10. 施策関連 （その他）	・ 農地転用規制を緩和してはどうか。
	・ 変化した要因を数字で分解した方がよい（人口減）。
	・ 農振見直し。
	・ 農地の宅地化の推進。その土地を民間企業で宅地開発をして、住宅団地を実現する。
	・ 人口減少地域の住宅団地の造成促進。

その他、ワークショップで出たご意見

1. 教育、福祉、子育て	・ 文化関連予算を増やしてください。（サトウハチロー1/5に減）
	・ 給食費を行政が負担して。
	・ 子ども減少に歯止めがかからない。
3. 道路、（公共）交通	・ タクシー・代行料金へ補助する。料金2,000円以内。
	・ さくらホールと駅間の交通手段の対策を！
	・ 道の整備。基本インフラを。先を見て下水処理等。
4. 商業、産業、農業	・ 補助により起業した事業を継続しなければ意味がない。
5. 地域、ひと	・ 市内に魅力がない。
	・ 自治会・町内会を形骸化させないためにどうするか？（例：自治会の条例化、市からの助成）
6. 自然、観光、イベント関連	・ 展勝地の桜再生に思い切った予算増額を。
7. まちの利便さ	・ 立花は立地条件が悪い。東部地区は昔からへき地と言われてる。アップダウンがあり住みやすいとは言えない。若者には嫌がられる地区。
8. （公共）施設	・ 沢野アパート16世帯である。現在5世帯、空き部屋が多い。
9. 施策関連（定住化促進）	・ 減少した7地区以外の地域でも増減差があるのでは。
	・ 市の協働、評価（PDCA）が遅い（今年はH29分）。これでは定住化の評価ができるのか。
10. 施策関連（その他）	・ JR跡地の活用。
	・ 危険箇所の設定に疑問あり。
	・ 空家対策。固定資産税等で優遇する。
	・ 魅力あるまちづくりを推進してほしい。
	・ 東芝メモリ関連の要因は別途でとらえた方が。
	・ 空家対策に力を入れる（東芝メモリ進出）。
	・ 空家をリユースさせたい。増えていくばかり。
	・ 空家対策を抜本的に・・・。
11. その他	・ 土石流地帯のボーリング調査。

稲 瀬 地 区

＜令和元年 7 月 26 日開催 参加者 7 名＞

質問 1. これまでの定住化促進への取り組みについて、良い取り組みだと評価できる点はなんですか？

3. 道路、（公 共）交通	・ 公共交通稲瀬線利用者増えている。
5. 地域、ひと	・ 新城ロードのおかげか、サイクリングする人達が増えた。
	・ 伝統芸能「念仏剣舞」に取り組もうとする若者ができた。
	・ 稲瀬に住みたいと言っている方が時々いる。

質問 2. これまでの定住化促進への取り組みについて、改善できると感じた点や、こうしたらもっと良かったと感じた点はなんですか？

4. 商業、産 業、農業	・ 農業後継者がいない。そして独身者が多くなってる。
5. 地域、ひと	
9. 施策関連 （定住化促 進）	・ 急激な人口増は好まないが「誘導」施策は必要。
10. 施策関連 （その他）	・ 空き家が多いように思うが、いざ住むとなると適さない。

質問 3. 改善点を解消するためには、誰が何をすればよいと思いますか？

4. 商業、産業、農業	・ 農家と学生を組み込む。
6. 自然、観光、イベント関連	・ 自然を活用する。 ・ 動物、小動物を飼う。
7. まちの利便さ	・ 歴史遺産の近くに飲食できる施設をつくる。
8. (公共) 施設	・ 病院をつくる。
9. 施策関連 (定住化促進)	・ 市有地への住宅建設を考えてほしい。
11. その他	・ 国の予算処置をしてもらう行動を期待する。

-----**-議会・行政に期待すること-**-----

1. 教育、福祉、子育て	・ 子どもを産み育てられるように補助金。
3. 道路、(公共) 交通	・ インフラ整備。 ・ 道路等インフラ整備に費用対効果はどれ程か？と問われると何とも言えなくなる。稲瀬はこうあってほしいというビジョンも時には示してほしい。 ・ 住宅を促進する上から道路の整備を行うべき。国道107号からの整備。市外からの通勤者が多い。
4. 商業、産業、農業	・ 農業所得向上政策と経営指導を。
10. 施策関連 (その他)	・ 空家対策。就労支援では足りない！！ ・ 農振解除。

-----**-地域の取り組みに期待するもの-**-----

4. 商業、産業、農業	・ 地元で生産している農産物を出す産直を設置する。
5. 地域、ひと	・ 若い人の新しい発想を生かす。 ・ 地域づくり協力隊の導入。

その他、ワークショップで出たご意見

1. 教育、福祉、子育て	・ 介護料は高すぎる。
3. 道路、（公共）交通	・ 幅の広い橋がほしい。 ・ 何年と要望してきている上下線の延長。工事は夢の話か。
4. 商業、産業、農業	・ 東芝メモリ、稲瀬にあまり恩恵がないよう。関連工場用地・住宅など・・・。
11. その他	・ 市として稲瀬にどうなってほしいのか？示してほしい。

和 賀 地 区

＜令和元年 7 月 26 日開催 参加者 4 名＞

質問 1．これまでの定住化促進への取り組みについて、良い取り組みだと評価できる点はなんですか？

4. 商業、産業、農業	・ 特産品の開発に取り組んだこと（アスパラ）。
	・ 産直利用が図られた。
5. 地域、ひと	・ 人と関わる場を作ることがまず大事。
	・ 参加者がその後グループ作成し活動している。
	・ 女性の会の活動が活発になった。
	・ 女性の活動が活発。交流できた。
	・ 地区外からの参加もあり交流が図られた。
6. 自然、観光、イベント関連	・ 婚活は続けるべき（良い事業）。
9. 施策関連（定住化促進）	・ 事業の発想がいい。
	・ Facebook も利用され楽しかった。
	・ Facebook や SNS を取り入れた為、地区外からの参加が多い。
	・ 自分の PR する方法の講座ももち良かった。
	・ ポスター等あか抜けたポスターで良かった。

質問 2. これまでの定住化促進への取り組みについて、改善できると感じた点や、こうしたらもっと良かったと感じた点はなんですか？

4. 商業、産業、農業	・ 交流人口に繋がっているのか？（産直）
	・ 産直は一年間通しての品物がなければならない。
5. 地域、ひと	・ 地区民に宣伝が足りない。
	・ 参加人数を増す方法。アピール不足。
6. 自然、観光、イベント関連	・ 婚活事業はただのパーティー感覚で参加する人もいるのではないか？
	・ モテ講座も何度か実施すべき。
9. 施策関連（定住化促進）	・ 2年間の単発事業ではいい結果が出ない。
	・ 継続が足りない。
	・ 2年間で終了せず継続が必要。
	・ 誘いあえる工夫も必要。
	・ 指導者（先生）が都会から来たが地域の方が良かった？

質問3. 改善点を解消するためには、誰が何をすればよいと思いますか？

4. 商業、産業、農業	・ 特産品の開発。
	・ 継続は力。産直も特産品開発も考える機会を毎年つくる。

5. 地域、ひと	・ 地元の講師を発掘するべき。
----------	-----------------

-----**-議会・行政に期待すること-**-----

9. 施策関連 (定住化促進)	・ 補助金の継続が必要。
	・ 5年10年の事業にした方がいい（補助金）。
	・ 一時的な補助金での対応ではなく、地域が望んでいる事業に取り組んでほしい。
	・ 事業が継続できる予算計画で行う。
	・ 補助金の継続。

-----**-地域の取り組みに期待するもの-**-----

5. 地域、ひと	・ リーダーとなる若者を育てる。
	・ 宣伝方法を自治会でもう少し検討するべき。

6. 自然、観光、イベント関連	・ 既存のイベントに若者をもっと誘う。
	・ 若い世代の人を行事に言葉巧みに誘う。
	・ 友人同志の誘いあう機会をつくる。
	・ 地区の世話役が人を誘って来る（自治会役員）。
	・ 地区民の積極的な参加が必要。
	・ 対象者が中心となつての実行委員会を設ける（婚活）。
	・ 婚活実績を1組でも出して地区にアピールする。

9. 施策関連 (定住化促進)	・ 補助金の使い方、金額を明確に！
--------------------	-------------------

(2)専 門 学 校

テーマ：

『北上に住みたいか・

住み続けたいか』

北上コンピュータ・アカデミー

＜令和元年 7 月 17 日開催 参加者 20 名＞

質問 1. あなたは、北上市に住み続けたい（住みたい） と思いますか？
また、それはどのような理由からですか？

住み続けたい

1. 教育、福祉、子育て	・ 学生インターンシップ強化がいい。
2. 生活環境、衛生	・ 実家から近い。実家があるから。
	・ 都会が好きじゃないから。
	・ 都会すぎず田舎すぎず丁度いい。
	・ 家からの通勤及び通学が可能。
	・ うるさい場所もあれば静かな場所もある。静かな場所に住んでみたい。
3. 道路、（公共）交通	・ 家から店までの距離が近い。
	・ 自宅から駅まで車を運転し通勤しているので、いつか北上市をドライブしたいと思っている。交通量が多く運転の練習にもなる。
	・ 除雪がうまい。
	・ 道路がきれい。
4. 商業、産業、農業	・ シャトルバスがあていい。
	・ 工場など工業地帯が盛岡に比べて発達している。
5. 地域、ひと	・ 農場がある場所もある。
	・ 地元に愛着があるため住み続けていたい。
6. 自然、観光、イベント関連	・ 自然が豊か。
	・ さくらホールなどイベントが多い。
	・ 展勝地がきれいで良い。
	・ 川釣りができる。

----- 住み続けたい -----

7. まちの便利 さ	・建物・施設の設置がバランスいい。
	・物を買える店やその他が丁度よく揃っていていいと思う。
	・店に売っている商品の品揃えがいい。
	・飲食店が多い。
	・コンビニが多くて助かる。
	・店や企業が多い。
	・スタバがある。
	・しゃぶ葉・いきなりステーキがある。
	・映画館がある。映画が見られる。
	・遊ぶ場所・食べる場所・いろんなお店があり場所も近い。
	・さくら野に映画館があるのは、盛岡以外の他地域に比べていい。
	・アメリカンワールドは結構遊べて良い。
	・遊ぶ場所や買い物ができる場所がたくさんある。
	・スタバやミッシェル・パルやさくら野など店が多くていい。歩いて行ける距離でいい。
	・さくらホールの施設がいい。有名な人が来る。勉強している人も多い。ガラス張りが好き。
	・様々な施設がある（映画・スポーツ施設）。
8. （公共）施 設	・公園が多いと感じる。
	・ふれあい広場をはじめ、河原が整備されていてよい。散歩したくなる。
	・運動公園が広くて良い。
	・さくらホールは使えていい。さくらホールのような建物が好き。



----- 住み続けたいと思わない -----

1. 教育、福祉、子育て	・ 税が高い。
	・ 子供の医療費が高い。
	・ 母子家庭の援助に対するものが希薄になっている。
2. 生活環境、衛生	・ 住みなれた場所が良いから（市外居住者）。
	・ 道にゴミが落ちていることがあり見栄えが悪い。
	・ 家から通勤したい。
	・ 盛岡から遠い。
	・ 人が少ない。
	・ 通学時、農場かどこかからか肥料の臭いがひどい日がある。
	・ 水がくさい。
	・ 北上駅東口が少し殺風景に感じた。
3. 道路、（公共）交通	・ 車が混雑するから。
	・ バスが少ない。
	・ 車が交差点や曲がり角を右左折するタイミングが遅く、歩行者に迷惑がかかっている。
	・ 交通量が多い。
	・ バス料金が安い。
	・ 空港がない。
	・ 交通量が多い。
	・ 交通の便が悪い。バス・電車の本数が少ない。
	・ バスが分かりにくい。
	・ 道路と歩道の段差の舗装が増えればよい。自転車で通やすくなる。
	・ 病院までの道が分かりにくい。
	・ 一部右折信号がないところがあり混雑する。
	・ 展勝地に行く橋がせまい。
	・ 交通機関が不便。
4. 商業、産業、農業	・ 雪の時、歩道側に雪が寄るせいで歩けなくなる時がある（除雪）。
	・ 電車の一駅一駅の料金が安い。
	・ 北上線すぐ止まる。
	・ 企業が多い割に求人が少ないし、働きたいと思うけど働く場所がない。
	・ 賃金が安い。
	・ 自分が就職したいと思える企業がない。
	・ 見受けられる求人が、工業系に偏っている。
	・ 求人が職種によって職がない。

----- 住み続けたいと思わない -----

7. まちの便利 さ	・ 商業施設が一部分にかたまっている。駅付近なども増やしてほしい。
	・ ラーメン屋を増やす。
	・ アスレチックがない。
	・ 駅前には人の出入りが多いが店が少ない。
	・ 大きな本屋がない。
	・ ブランド物を扱っている店が少ない。
	・ 飲み屋が駅に偏っている。
	・ ゆっくりできる場所がない（カフェなど）
	・ 広くて歩きだと大変（店）。
	・ 行きたい場所が離れている。

8. （公共）施 設	・ 子供たちが遊ぶ公園が少ない。
	・ 公園のトイレが汚い。トイレットペーパーがない。

11. その他	・ 興味が無い。
	・ 家族と過ごしているうえで、アベノミクスなどの経済効果の実感が無い。
	・ 温泉が少ない。
	・ 土地少ない。
	・ 温泉が少ない。
	・ 北上の特色（長所）を知らない。北上市に住む必要が無い。
	・ 若い人が少ない。
	・ 帰巢本能に逆らえない。



質問2. さらに住みたい・住み続けたいまちになるために、必要なことはなんだと思いますか？

1. 教育、福祉、子育て	・ 子育て支援より、学生に対する支援をもう少しちゃんとしてほしい。
	・ 学生インターンシップgood！
	・ 大学や専門学校がもっとあればいいと思う。
2. 生活環境、衛生	・ もっと駅周辺がにぎやかになればいい（特に東口）。
3. 道路、（公共）交通	・ 小学校近くの道路を広くしてほしい
	・ シャトルバスの本数増やす。
	・ 二車線道路を増やしてほしい。
6. 自然、観光、イベント関連	・ 展勝地をもっとにぎやかにしてほしい
	・ みちのく芸能祭りの屋台と踊っている場所を近にしてほしい。
	・ 展勝地を花見だけでなくもっとイベントを増やすべき。
7. まちの便利さ	・ アニメイトがほしい。
	・ （外で）ライブができる場所がほしい。
	・ 温泉を増やしてほしい。
	・ 旅館（宿泊所）を増やしてほしい。
	・ 物品増やしてほしい（文房具など）
	・ 飲み屋が駅前に固まっているので増やしてほしい。
	・ 都心に比べて新しい商品が来るのが遅い。
	・ 台湾ティー専門店がほしい
	・ 遊べるところが少ない。
	・ コストコほしい。
	・ ドンキほしい。
	・ ミスタードーナツ・ビヤードパパがほしい。
	・ ショッピングモール系を増やしてほしい。
	・ コメダ珈琲がほしい。
	・ テレビのチャンネルを増やしてほしい。
	・ 雑貨店がほしい。
	・ ラウンドワン・コストコがほしい。
	・ テーマパークがほしい。
	・ ペットショップがほしい。
	・ マクドナルドを増やしてほしい。

8. (公共) 施設	・ 消防署を増やしたい。
	・ 運動公園を増やしてほしい。



専修大学北上福祉教育専門学校

＜令和元年 8 月 1 日開催 参加者20名＞

質問 1. あなたは、北上市に住み続けたい（住みたい） と思いますか？
また、それはどのような理由からですか？

----- 住み続けたい -----

1. 教育、福祉、子育て	・ 奨学金制度がある。
	・ きれいな保育園が多い。
2. 生活環境、衛生	・ 落ち着いた町である。
	・ 花巻市以外に住んだことがないから。
	・ 住みたいと思う。景気がよくなっている。
	・ 自然と商業施設のバランスがいい。
	・ 地元が一番住みやすいから。
	・ 生まれた街で両親がいる。
3. 道路、（公共）交通	・ 公共機関もしっかりしており、自然にも恵まれているのでいい。
	・ 新幹線が停まるため、県外に出るのが楽。
5. 地域、ひと	・ 地域交流があるから。
	・ 字区ごとに地域の人と関われるから。
	・ おじいちゃん、おばあちゃんがたくさんいるから。
	・ 地元だから。
6. 自然、観光、イベント関連	・ みちのく芸能まつりがある。

住み続けたい

7. まちの便利 さ	・ 夜遅くまでやっている店がある。
	・ ラーメン屋が多い。
	・ アメリカンワールドがある。
	・ お店なども多くとても住みやすい。
	・ 子育て中のお母さんが子連れで行けるカフェがある（花巻市にはない）。
	・ 建物が多い。
11. その他	・ 北上の学校に通っていて話を聞くことがあるから。
	・ （K T Sの）校長先生美人。



住み続けたいと思わない

1. 教育、福祉、子育て	・（KTSの）学生の人数が少ない。
2. 生活環境、衛生	・ 花巻市に住み慣れているため。 ・ 慣れ親しんだ地元の方が過ごしやすい。 ・ 正直ゴミの分別がしんどい。 ・ 商店街が淋しい。 ・ 地元に残りたい。自分の住んでいる所で介護の職に就きたい。
3. 道路、（公共）交通	・ 和賀の方だと電車、バスの本数が少ない。 ・ バスの運行、交通の便が悪い。 ・ バスが時間通りに来ない。
6. 自然、観光、イベント関連	・ 北上は雪が多い。
7. まちの便利さ	・ タピオカ専門店が少ない。 ・ 古着屋がない。 ・ 大型ショッピングモールがない。 ・ 店（スーパーや専門店など）が一つにかたまっている。 ・ テーマパークがない、休日に家族と出かける場所がない。 ・ 北上市内で買い物をするとところがない、行かない。盛岡市に買い物に行く。
11. その他	・ どっちでもいい。不便をあまり感じない。



質問2. さらに住みたい・住み続けたいまちになるために、必要なことはなんだと思いますか？

1. 教育、福祉、子育て	・ 学校でも地域の人と関われるような環境をつくる。
	・ 教室にエアコンがほしい。
	・ 市内の学校すべてにクーラーがほしい。
2. 生活環境、衛生	・ ゴミの分別を簡単に…（燃えるゴミ、燃えないゴミだけなど）。
	・ 駅前をもっと盛り上げてほしい。
	・ 竹下通り作っちゃう。
3. 道路、（公共）交通	・ 交通の面をもっと便利にする（バス、電車の本数を増やす）。
	・ 交通機関の整備の充実。
	・ 運転手さんに頑張ってもらう。
4. 商業、産業、農業	・ 積極的に企業誘致。
5. 地域、ひと	・ 区の行事に積極的に参加する。
	・ 北上に住んでいる人にインタビュー。
	・ 人との温かみ？かわり？
	・ 交流の場所。
6. 自然、観光、イベント関連	・ 芸能まつりもっと参加したい。
	・ にぎわい市を市内で定期的に行う。
	・ 雪が積もらなければよい。



7. まちの 便利 さ	・ 大きいお店がほしい。
	・ 家族で楽しめる場所がほしい。
	・ 遊園地や大きなテーマパークがほしい。
	・ 欲しいものがすぐ見つかるような大型の店がほしい。
	・ 一つにスーパーなどを建てるのではなく、バランスよく建ててほしい。
	・ 様々なお店が増えてほしい。
	・ 流行のお店がほしい。
	・ イオンの規模を大きくしてほしい。
	・ 学生が集まれる場所がもっとほしいです。
	・ 若い人向けの服屋さんやセレクトショップなどを増やす。
	・ 駅前に若者向けのお店をつくる（飲み屋以外の飲食店）。
	・ 動物園を作る。
	・ 遊園地、水族館ほしい！
	・ カフェや飲食店がどこにあるのか分かりやすい何かがあるといいと思う。
8. （公共）施 設	・ 図書館を月曜日開館してほしい。
	・ たくさんの子供が遊べるような大きい公園をつくる。
10. 施策関連 （その他）	・ 北上市の土地を増やす。
	・ 北上市が大きい土地を確保する。
	・ 暑さ対策ができるくらいのお金を北上市が確保する。
	・ 市構想を一般公募。
11. その他	・ 田んぼを買って建てる。
	・ 人口増やす。
	・ 空き家をゲストハウスとして貸し出す（アパート不足解消のため）。
	・ 空きスペースを安価で貸し出す。
	・ 捨てられた犬とか猫とか拾ってきて触れるようにする。

(3)子育て団体等

テーマ：

『子育てしやすい

まちについて』

北上市学童保育連絡協議会

＜令和元年7月22日開催 参加者29名＞

質問 1. あなたは、北上市が子育てしやすいまちだと思いますか？また、それはどのような理由からですか？

----- 子育てしやすいまちだと思う -----

1. 教育、福祉、子育て	・ ひとり親家庭への対応が、北上はいいと聞きました。
	・ 学童保育に入りやすい。学年で切られない。
	・ 昔に比べたら医療費の助成も幅広くなってきたような。
	・ 産後の健診、アットホームで良い。
5. 地域、ひと	・ 地域活動に参加。
	・ 親同士の繋がりがよく相談しあえる。
	・ 転勤族が多く、母同士が友達になりやすいのが良いです。
7. まちの便利さ	・ 大きな病院や商業施設があり、生活の環境は整っているので良いです。
8. (公共) 施設	・ 数年前より雨の日などに遊ばせる場所が増えた。
	・ 公園が増えた。



----- 子育てしにくいまちだと思う -----

1. 教育、福祉、子育て	・ 医療費助成の対象幅が短いと思う。隣町は高校までとなりました。
	・ 医療費がかかる。助成対象年齢の拡大を希望。
	・ 通学するスクールバスがない。クマなどの出現などで長い道を通学するのが怖い。
	・ 学童の料金統一ではない。
	・ 保育園の兄弟で違う所に通うのはどうかと…。行政は柔軟な対応をしてほしい。
	・ 人手不足。子どもに目が行き届かないので親は不安。
	・ 父母会運営のため各学童クラブによりお金の使い方やお金が違う。除雪代、クーラーなど…。
	・ 支援不足、若い人が少ない。
	・ 障がい児を受け入れられない。
	・ 予防接種代が高い。保育する職員にも補助があるといい。
	・ 待機児童がどの位いるのか情報が少ない。
	・ 学童に預けたくても、保育料が高いという声が聞こえる。保育料の引き下げを行っているが、入れられない家庭もあるようだ。
	・ 子どもが学童に行きたいと言っても親の懐事情により入れない子もいる。
	・ 課外活動の選択が足りない。
	・ 子ども食堂が動き始め、うちの保育所の子たちも利用している。本当に利用してほしい方（世帯）が引け目を感じ行けていないように感じる。
	・ 子ども同士遊びにいくとき、大人の送り迎えが必要。
	・ 子どもが少ない地域なので、学校での活動（部活など）が限られていてかわいそうです。
	・ 医療費が無料でないのが他の自治体と比べて嫌でした。
	・ 働きながら子育てする中で、共働きですぐ母親も復帰する人も多い。子どもの預け先は？今後の生活は？と不安。
	・ 岩崎小統合しても児童が減少。→コンパクトシティに入っていない。
	・ 立花中学生が北中に流出。
	・ 医療費助成が他より悪い。予防接種が高い。
	・ 中学校部活の選択少ない。
	・ 学童手当、各学童による。
	・ 学童が狭い。
	・ 学童の運営に限界。
	・ 各学童の支援員の勤務時間が長時間。
	・ パート募集、職員募集もかけているがなかなかいない。制度はきちんと決められてきているが人材が不足！

----- 子育てしにくいまちだと思う -----

(つづき)

1. 教育、福祉、子育て	・ 支援員がいない。
	・ 父母会運営は限界がある。父母の中での事務仕事、決め事も多く負担が大きい。
	・ 父母会運営のため運営をしっかり継続して見ていく人がいない。卒業したらまた役員が変わる。
3. 道路、（公共）交通	・ 岩崎はバスがなく不便。自転車で街まで来る。おに丸号も交流センターまでしか来ない。
7. まちの便利さ	・ 近くに遊べる場所や病院がなく、早くても車で20分程度はかかる。
	・ 専門の医療機関が市内になく、盛岡まで行かなければならない。通院に時間がかかり、結局1日仕事を休まなければならなくなる。
	・ 雨の日遊ばせるところがない。
	・ 病院が遠いために、仕事を休んで子どもを連れていけない時がある。
	・ 子どもが外で遊べる広場がない。
	・ 産む場所がない。婦人科がない。
	・ 公園がない。
	・ 病院が近くになく不便。買い物も近くになく不便。江釣子まで行かないと。
	・ 和賀町不便なので人口流出。
8. （公共）施設	・ 小学生、図書館でも思い切り遊べない。
	・ 公園の整備してほしい。数も！
	・ 保育施設の整備してほしい。プレハブが暑い！エアコン必要。
11. その他	・ 市街地と周辺地域との格差。



質問 2. 子育てしやすいまちになるために、もっとこうだったら良い、こうであってほしいと思うことはなんですか？

----- もっとこうだったら子育てしやすいのに -----

1. 教育、福祉、子育て	・ 病後児保育があるということを知らなかった。良いサービスだと思うのでお知らせがあったほうが良い。
	・ 病後児保育が必要。
	・ 0歳児保育の拡充、医療費補助の拡充が必要。
	・ 病院で「～歳児から預けられる」「相談するなら～へ」といった情報を、小さい子どもがいて出来ない・不安な母親のために、早い段階で情報や知識、安心した子育てプランを提供してほしい。
	・ チャイルドシート購入時補助金があっても良いのでは？
	・ 時間をかけて、市内の中でもある程度まとめた指針があった方が父母は関わりやすい。
3. 道路、（公共）交通	・ 市でバス補助金出してもらえれば助かります。子ども、お年寄りが使いやすい。
	・ スクールバスやジャンボタクシーの拡充希望。
5. 地域、ひと	・ 地域とのかかわり。
	・ 世代間交流の機会が定期的にあると良い。
6. 自然、観光、イベント関連	・ 市でさくらホール開放日や北上体育館等を使ってイベントをうってほしい（定期的だと嬉しい）。
7. まちの便利さ	・ 皮膚科、耳鼻科を増やしてほしい。
	・ 産科、婦人科が別になれば理想である。
8. （公共）施設	・ 公園の整備をしてもらえると遊び場が増える。
	・ 使えない遊具や洋式トイレにならない・エアコンつけてもらえない状況。親が不安で子育てしやすくない。
	・ 子どもたちが遊べる施設を。
	・ 公園の整備してほしい。数もほしい。
	・ 屋内で安全に遊べる施設が欲しい。

- - - 子育てしやすいまちになるために、こうであってほしい - - -

1. 教育、福祉、子育て	・ 学童の運営をNP0などで一括で運営する。
	・ 口内保育園の園庭を使うため遊びたくても遊べない時がある。広い場所がほしい。
	・ 小規模学童への支援をもっとしてほしい。
	・ 指定管理に不安もあるので分かる。市の方が説明勉強会をしてほしい感じ。
	・ 各学童によりもらえる補助金も違う。人件費の使えるお金の使い方も違うため、もっと処遇改善があると働く先生たちも長く勤められるのでは？
	・ 学童保育所施設整備について、補助助成など充実させてほしい。
	・ 笠松小移転にともない、学童も新築移転してほしい。
	・ 行政が子育てに関する予算をアップして。
	・ スクールバスや学童の送迎タクシーも各学年毎に帰宅時間が異なる分も市の予算をきちんとつけてほしい。
	・ 学童の人件費を増やしてほしい。
	・ 委託料をもっと引き上げてもらいたい。
	・ 専門学校の保育士さんに、学童保育の実習先にしてほしい。
	・ 若い人達にも学童保育の支援員の仕事を知ってもらう。魅力づくりのための市のバックアップも必要なのでは。
	・ 親の負担金、地域格差が大。平準化を図る。
	・ 除雪機の補助あったほうがいい。
	・ 保育士、支援員の確保、教育。
	・ 支援員の待遇改善、福利厚生充実。
	・ 保育料の引き下げのため補助金助成の拡充を。
	・ もっと若い人達にも学童保育所支援員の仕事の魅力を知ってもらう機会。
	・ 支援員資格条件の緩和。
	・ 気軽に子どもが集まりやすいところが増えるとよい。防犯はどうか。
	・ 子どもたちが安心して過ごせるような学童が増えると、若い人達も北上市に定住して子育てしたいと思うのでは。
	・ 共働き世帯、核家族世帯が安心して子どもを預け生き生きと働けるような支援をお願いしたい。
	・ いま要望している事項を実現してほしい。
	・ 学童の父母会運営の良さとNP0の良さとがいい方向性であるといい。
	・ 働いている親も安心して子どもを学童に預けられる。
	・ 学童の運営が父母会運営への困難を解消してほしい。

--- 子育てしやすいまちになるために、こうであってほしい ---

(つづき)

1. 教育、福祉、子育て	・ 地域格差をなくしてほしい。
	・ ひとり親世帯が、学童保育料の減額を大幅に補助してほしい。
	・ 市立美術館などの、児童無料パスポートなどつくってほしい。
	・ 親の勤め先の理解。
	・ 学童をもっと地域に根ざしたい。
	・ 学童保育所は大切な子育て支援施設のひとつであるため、保育園・幼稚園などを卒園してから、小学校・学童保育所を含めた子どもたちに対する育成支援を皆で行っていただければいいと思う。
	・ 学童保育所施設の認知度がまだ低いところもあり、市側ももっと働く親のための地域の大切な施設ということを伝えていける場を設けてほしい。
	・ 世代を越えて、さまざまなことを語り合える場が多くあると良い。小さなことから実現していければ。今日のような会はとても良い。
2. 生活環境、衛生	・ これから増える北上市民、不審者等の話も聞く。子ども達が安全な地域になってほしい。
	・ 子どもの安全をどう守るか。事故が起きてからでは遅い。
5. 地域、ひと	・ 子どもだけでなく親も住みやすい地域。
6. 自然、観光、イベント関連	・ 市民パレードの持ち方を工夫してほしい。地元にもっと若者が帰って来なくなる祭りにしてほしい。
7. まちの便利さ	・ 若者の住みやすい街。



その他、ワークショップで出たご意見

1. 教育、福祉、子育て	・ 貧困世帯、子どもたちの生活の乱れ。
	・ 黒岩、立花、照岡小の統合についての情報をもっとお願いしても、全く出てこない。こんなこともできなければ、そのほかの事業も進んでいくのが心配。子どもへの影響も出るのでは。
	・ 近隣の市町村の状況が分からないので比較できない。特に困っていない。
	・ スクールバス出す、ジャンボタクシーなど。過疎化につながる。
	・ プログラミング指導者の手配はできているのか。
	・ ひとり親家庭の生活保護利用率が14%程。北上市はどうなんでしょうか。
	・ 子育てに関して他の行政区よりも遅いのでは。
11. その他	・ 訴え続けること。
	・ 石垣市との友好はどうなっているのか。



北上市PTA連合会

＜令和元年7月25日開催 参加者 9 名＞

質問 1. あなたは、北上市が子育てしやすいまちだと思いますか？また、それはどのような理由からですか？

子育てしやすいまちだと思う

1. 教育、福祉、子育て	・ 延長保育はアレルギー対応もあり大変助かった。
	・ 子どもが幼い頃、病後児保育があって大変助かった。
	・ 子育て支援センターが充実していた。
3. 道路、（公共）交通	・ 冬の日除雪をしっかりともらい助かる。
5. 地域、ひと	・ 郷土芸能が盛ん。
	・ 地域ぐるみで子育てに協力してもらえる。
6. 自然、観光、イベント関連	・ 子ども向け行事が多い。
7. まちの便利さ	・ 1つの場所で総合相談・支援体制があるのはいいと思う（保健センター）。
	・ 小児科の医院が多く、対応は良いと思う。
8. （公共）施設	・ 詩歌の森など自然に触れられる公園がある。

子育てしにくいまちだと思う

1. 教育、福祉、子育て	・ 学童保育所の環境が悪い（スペース不足等）。
	・ 複式学級になってしまうことで、統合で揉め決裂。
	・ 子どもや親の意見より、地域の年輩者の意見が優先され、統合決裂。
	・ 中学校のクラブが少ない。
	・ 高等学校の科目が少ない。
	・ 病後児保育の登録の仕方が分からない。
	・ 待機児童の対応が分かりづらく見えづらい。
	・ 学童保育に携わる方が少ない。
	・ 保育専門学校があるのに、保育に進む人が少ない。
	・ 保育園が足りない。兄弟で別の保育園になったりする。
3. 道路、（公共）交通	・ 自動車や運転の質など、事故に繋がる状況が多い。
	・ 交通量の多い箇所のインフラ整備が遅い。
	・ 通学路に歩道がない。バス停まで遠い。
7. まちの利便さ	・ 体育館、球場が少ない。
	・ 町場の人達には住みやすいと思いますが、町場から離れているので、高齢者の方の移動が大変。
	・ 皮膚科が少ない。
8. （公共）施設	・ 小学校の校舎が老朽化している。駐車場がない。
	・ 猛暑の時期に、校舎にエアコンがないので心配。



質問 2. 子育てしやすいまちになるために、もっとこうだったら良い、こうであってほしいと思うことはなんですか？

1. 教育、福祉、子育て	・ 所得に関係なく医療費は助成してもらいたい。
	・ 予防接種の補助があるといい（インフルエンザなど制限なく）。
	・ 病後児保育の場所が各地域に必要。遠いから利用しにくい。
	・ 子どもや親の意見が尊重されるべき。
7. まちの便利さ	・ 若い人達が来てくれるような街に。スーパーだけではなく、買い物できるようなお店がもっとほしい。
	・ 待ち時間が長いので、耳鼻科がもう一つくらいあれば良い。
	・ 町場以外にも、子ども達だけで遊べる公園がほしい。
	・ 中高生も本気で遊べるスポーツ施設がほしい（ラウンドワンのような）。
8. （公共）施設	・ 学校にエアコンを早くつけてほしい。



きたかみ子育てネット等

＜令和元年 8 月 9 日開催 参加者14名＞

質問 1. あなたは、北上市が子育てしやすいまちだと思いますか？また、それはどのような理由からですか？

----- 子育てしやすいまちだと思う -----

5. 地域、ひと	・ ご近所付き合い、地域の活動が残っている。
	・ 伝統文化（鬼剣舞、神楽など）が残り、継承されている。
	・ 地域の方の協力がある（見守りボランティア等）。
6. 自然、観光、イベント 関連	・ 自然が豊かである。子どもが外遊び沢山できる。
7. まちの 便利 さ	・ 10年前より小児科が多くなってよい（日曜日もやっている）。
	・ フードコート最強。
	・ ショッピングセンターの平面駐車場が最高。
	・ パル、さくら野、買物しやすい。
	・ パルのキッズトイレありがたい。
	・ 私は退職して北上に転入してきたばかりでよく分かりませんが、学校・病院等もあり恵まれていると思います。
8. （公共）施設	・ 公園など遊べる施設が整っている。

----- 子育てしにくいまちだと思う -----

1. 教育、福祉、子育て	・ 人に頼ると後ろ指をさされる雰囲気がある。
	・ 「子育ては母」「家事は母」の意識強い。
	・ 子育てしながら仕事をするのに協力理解が多くない。
	・ 医療費が高い。医療費の助成がシビア。
	・ 病児保育の利用に事前予約が必要で当日対応ができない。
	・ 産後ケアの施設がない。赤ちゃんの母親が心身ともに安心して休める。
	・ 子育てについて相談できるところが少ない。
	・ スクールカウンセラーがいない。
	・ 学童保育料が高いと思う。
	・ 保育料の年齢制限。所得制限とか。
	・ 子育てサークルが自然消滅しているらしい。
	・ 子育ての情報が発信されていない。
	・ 女性も男性も仕事との両立が難しい。
	・ 働く時間に保育サービスがない。一時保育のサービスが少ない。
	・ ファミリーサポートセンター、申込がーか月前で使いづらい。
	・ 子育て支援センターの年齢制限。子育て支援センターに小学生を連れていけない。食事を取れない。
	・ 父親が子育てを楽しめるよう意識を育てる機会がない。
	・ パパがオムツ替えするスペースがない。父親として子育てに関わる意識を育てる機会がない。
5. 地域、ひと	・ 子どもの医療費助成を充実させてほしい。
	・ 子どもの防犯の取り組みがまだ足りない。見守りだけでは限界。
5. 地域、ひと	・ 転勤して来た人にとっては、地域のコミュニティに入りにくい。おせっかいに感じる。
6. 自然、観光、イベント関連	・ 自然や景観等あるが、日陰が少ないなどの理由から実際子連れで行くのは厳しい。
7. まちの便利さ	・ お産を扱う病院が減った。
	・ 公園、水遊びする所など一日楽しめるような場所が少ない。
	・ 遊ぶ場所が少ない（屋外も屋内も）。
	・ キャンプ場が少ない。
8. (公共) 施設	・ 学校施設ボロボロなのでなおしてほしい。

質問2. 子育てしやすいまちになるために、もっとこうだったら良い、こうであってほしいと思うことはなんですか？

1. 教育、福祉、子育て	・ 防犯に強い地域づくり。親子体験型講座とか。
	・ 教育費（制服、体操着等含めて）の助成を子育て世代皆にほしい。
	・ 誰かを頼りやすい仕組みづくり。
	・ 子育て中の人を孤立させない居場所づくり（サロン等）。
	・ 産後ケアの施設がある。
	・ 全世代子ども食堂。居場所づくり。
	・ 企業研修等で仕事と子育ての両立の意識を育てる。
	・ 子育て支援センターの入場を未就園児と一緒にであれば大きい子も可とする。
	・ 子育て支援センターで食事可の時間を設ける。
	・ 提出物、集金、プリント類などオンライン化。
	・ 教育に予算を使う。
	・ 市が子育て世代への支援を拡充する。
	・ 保育士の給料を高くする。
	・ 母子手当が少ない。
	・ 1人親に対しての経済支援。
	・ 親子でふれあえるところが必要。
	・ 空家を利用したのびのびとした子育て。
	・ いざという時に大声出せる。ダッシュで逃げる。一人一人の力が犯罪を防ぐ。
4. 商業、産業、農業	・ 在宅ワーク企業を増やす。市でも仕事を作る。
5. 地域、ひと	・ 地域皆で子育てしやすい理解者を増やす。
	・ 世代間の意識差を埋める取り組み。孫育てなど。
6. 自然、観光、イベント関連	・ 展勝地を花見以外に利用できるようにしてほしい。レストハウスだけではお客様（親子）を呼べない。
7. まちの便利さ	・ 土日祝利用できる遊び場の設置。
	・ 大人から子どもが使える公園があると良い。
	・ 設備が整っているキャンプ場がほしい。
	・ パルに託児所がほしい。

(つづき)

8. (公共) 施設	・小学生も思い切り体を動かせる施設を設ける。
	・公園に管理人を常駐して。
	・きれいな学校（トイレ含む）。

11. その他	・情報の共有と取り組み等。
	・国保税を子育て世代に安く（軽減）してほしい。
	・パワハラ、マタハラ対策。
	・県外のよいところをもっと参考にしてほしい。公園など。

その他、ワークショップで出たご意見

1. 教育、福祉、子育て	・ランドセルが重いのになぜ毎日全部持たせるのか。
	・学校指定多すぎ。キャラクターだめとかなしにして。
	・部活強制入部NGにしよう。

8. (公共) 施設	・山形県の子育て施設がすごい（父も参加）。
	・学校が古くなってきたけど建て替えない。

10. 施策関連 (その他)	・外向きの予算が多いと感じる。
-------------------	-----------------

11. その他	・光熱費が高い。
---------	----------

(4) ご意見一覧

以降のページでは、アンケートの自由記述欄よりいただいたご意見について記載しています。

< 市政全般 >

No.	テーマ分類	内 容
1	情報公開	行政の情報を誰でもが手に出来るようにネットに公開していくべきではないか。議会に提出する案件の基本データを知らずに問題点を知ることは出来ない。
2	交流センター	昨年、議員の給料の改善についてのつなぐ会で、今の給料では生活できない等の理由で、議会でアップ等が決定されました。各地区センターの職員の給料は安く、なり手不足である。自分たちのことだけを考えず検討してほしい。特にセンター職員の職務内容は市の生涯学習（文化）課の職員と同じ様な仕事をしている。職場は異なるが同じ様な内容の仕事をしているので、給料に反映するよう、委託金の大幅アップをお願いしたい。
3	交流センター	地域を担う関係役員の処遇改善を。市議会議員の成り手不足の原因を、報酬額の低さだけに焦点を当て、今年度から議員報酬がアップされた。しかし、それ以上に地域の現場を担う民生員、また自治会役員、センター職員などの成り手不足が深刻だ。この問題を行政だけでなく住民代表としての市議会も、しっかり考えてもらいたい。
4	地域	青柳町に住んでおり、区会費を集める際、飲食店の人たちが払ってくれない。何か対策をしてほしい。
5	教育	黒沢尻と名の付く学校は、人がたくさんいるのにすごく古い、使いづらい。しかし和賀町は次々に新しい学校を建てようとしている、このお金の使い方に市の中心部の方々が反対しないのが不思議です。和賀西小としては、思いを他地区の方々と共有できてありがたかったです。
6	教育	統合地区に情報を発信してもらえるとありがたい。
7	教育	小学校統合での土地取得など無駄な税金使用では。本来中学校が終了してからとの合意でした。行政の建設的な思考がなければ人口減少には対応できないと思われる。
8	教育	税金の使い方。怪我するし、安心して過ごしてほしいので、学校や公共施設を直してほしい。

< 市政全般 >

No.	テーマ分類	内 容
9	子育て	保育園を増やしてほしい。小規模ばかり増やさないでほしい。0～6歳児預けられない。特に3歳以上困っている。
10	子育て	市からの情報等は広報でも知り得ることができが、学童に関して等特定のことにしていることがなく、学習会という形でもいいので機会を作って頂ければと思います。子育てしやすい北上市・・・、子育ては短い期間かもしれないけど、親にとっていちばん関心のある時期だと思います。親にも子にも優しい北上市であるよう、よろしくお願いします。
11	子育て	たくさんの方々の思いや願いを知ることができ良かったです。小さい学童は小さいなりに悩みがたくさんあり、もっと児童数が増えれば。子どもたちの楽しさも増すのにな、と思っています。児童数減少に伴い、我が地域も児童数を増やせるような工夫をお願いしたいです。
12	子育て	アパート助成より子育て助成を増やしてほしい。
13	子育て	男女共に子育てに関わることが、各々の選択や意思で可能な北上市が、娘たちが大きくなる頃の実現していただければいいですね。
14	共同住宅支援事業	共同住宅等建設支援事業については、アパート経営事業者に対する利益供与という批判もあると思うが、将来的な政策としては人口増に結びつく有効な手段と思う。
15	インフラ整備	北上駅東口の開発には時間がかかると思うが頑張ってほしい。
16	インフラ整備	是非インフラ整備が進むよう期待してます。
17	インフラ整備	令和橋を作ってほしい。橋の多いまちが発展するから。
18	コミュニティバス	コミュニティバスの料金一定（100円や200円）や前売り券にするなどで、老人の利用度アップさせた方がよいのでは。
19	下水道	下水道事業受益者負担金条例の見直し改正。
20	その他	市政の見直し、現国会の様にならないことを願います。
21	その他	看板税を考えてください。

< 市民と議会をつなぐ会・議会活動について >

以下はアンケートでいただいたご意見等のうち、市民と議会をつなぐ会や議会活動に関するものを一覧でご紹介します。78ページには、議会からの回答を載せております。

No.	内 容
1	「改善点」の問いではなく「問題点」とした方が考えやすい。
2	事前に会の運営やテーマを教えてほしい。
3	この会の目的が不明である。結果の報告がほしい。
4	事前に内容をお教えしてから会議を実施した方が良い。
5	もう、ポストイト仕事は終えるべきである。
6	地域懇談会の延長線上の事業と考えれば楽に参加できると思った。
7	このような機会に色々な地域の話聞くことができ参考になった。色々なグループで開催されて良くなっていくことにつながると良いと思います。
8	今日の意見を実現できるよう、ぜひお願いします。
9	議員の方とざっくり話が出来、話せて良かったです。
10	とても良い話し合いができました。ありがとうございました。要望が改善されることを切に願います。
11	意見を聞いていただき嬉しかったです。
12	伝えたいことがたくさんあったので、とてもスッキリしました。北上市を子育てしやすいまちにするため考えられているんだなあと思いました。とてもよい機会でした。
13	初めてこういう会があることを知り、参加して本当によかったと思いました。様々な立場の方にも参加してほしいと思いました。ありがとうございました。
14	つなぐ会開催の周知をもっとすること。
15	地域活性化に頑張ってもらいたい。
16	ワークショップは自分の意見をしっかり言うことができてすごくよかった。
17	もっと多くの方が参加するように（若い人も）、宣伝が不足だったと思います（地区としての反省です）。
18	ワールドカフェの形式、他でも使ってみてみたいと思いました。この会がどう繁栄されるか楽しみです。
19	参加させていただきありがとうございました。このような機会は素晴らしいと思いました。活かしていただけることを信じて…。今後の行政に大いに期待します。
20	この様に話し合う機会がもっとあればいいと思う。
21	飲みながら話がしたい。
22	本日話しました、一つ一つが良い形に結ばれたなら幸いです。

< 市民と議会をつなぐ会について >

No.	内 容
23	市議会議員さんと話す機会も少ないので、このような機会に参加できて良かったと思います。ぜひ、今回の話し合いを市政に反映していただきたいと思います。
24	このような機会を、いろんな市議さんと設けて頂けるとよいなあと感じました（学童保育だったので、分かる学童保育関係者の議員さんが多かったのかな？）。とても有意義な会になったか否かは、今後どれだけ意見が反映されるかによるのでしょうか。
25	学童と議会との話し合いはいい機会であった。学童に関することも、もう少し話題にしてほしかった。地域格差を感じた。
26	ぜひ、今日の内容を全市民が知る機会があれば良いと思います。今後も継続していただきたいです。
27	人数がちょうどよかった。
28	資料の詳細あれば（事前に提供とか）基づいて話ができたとする。色んな方々と交流できて良かったです。
29	今後も続けていただきたいと思います。
30	大変勉強になりました。今後も続けて行ってほしいと思います。
31	初めて参加しましたが楽しく交流できました。また次回もしてください。
32	初めてワールドカフェに参加しましたが、意見を話しやすい会だったので次回もあるようであればこの形式が良いと思いました。日頃感じていることをみなさんと共有することができる良い場でした。ありがとうございました。
33	格差があるため共有しづらい部分がある。
34	もう少し早く告知願います。
35	テーマの絞り方、ワークショップの持って行き方の工夫がほしい。
36	参加者はいつもの役員の方がほとんどだったので、もっと若い人や黒岩への移住者にも気軽に参加してもらえるようにPRしてほしい。
37	テーマが「地域計画」であればよかった。
38	今回のように「テーマ」をもって話し合いができることをお願いします。
39	沢山話すことができた。
40	皆さんの積極的なまちづくりの意見が聞けて良かった。議員さんの話も良かったです。
41	お疲れ様でした。またお願いします。
42	どこで話せばよいのか（学校に言っても変わらない）分からなかったもので、こういう機会に話すことができてよかった。
43	皆様と意見交換が気軽にでき良かったです。お声がけ頂きありがとうございました。
44	議会をつなぐ→議員とつながるの方が大切かなーと思います。

< 市民と議会をつなぐ会について >

No.	内 容
45	市民は、どのように思っていることを伝えたら良いか分からないので、こういった場でやる事は良いと思います。
46	もっと若い世代の参加が大事です。
47	テーマ設定の見直し。
48	設定テーマが分かりづらい。結果として話し合い進まず！議員（議会）は行政のチェック機能をしっかり果たしてほしい！
49	ワークショップの方向を示してほしい。
50	急にワークショップ方式は難しい。少し心得て参加したい。勉強不足。もっと社会に目を向け、無関心な自分に反省してます。
51	ご苦労様だと感じました。
52	議員との交流会（飲食を含む）を持ってほしい。
53	貴重な時間を作って頂きありがとうございました。



5. 質問等に対する議会からの回答

次ページからは、意見交換やアンケートでいただいたご意見・質問等のうち、各常任委員会の所管事項に関するもの、広聴委員会の所管事項（市民と議会をつなぐ会）に関するものについて、各委員会よりピックアップして回答します。

【次頁以降の見方】

ご意見等とそれに関連する分類テーマ

- ・ 定住化促進事業補助金、今後も継続してほしい
- ・ 一時的な補助金での対応ではなく、地域が望んでいる事業に取り組んでほしい

分類テーマ「9. 施策関連(定住化促進)」

総務常任委員会 がお答えします

【当局からの説明】

令和元年度6月補正予算を審査する際、当局から次のような説明がありました。

- ・ 人口減少地域定住化促進事業は平成30年度で終了し、一年間第三者の視点を入れながら検証する。
- ・ 令和元年度は、庁内のさまざまな議論・検証及び地域からの要望等も踏まえて、人口減少地域まち育て支援事業として、同様の趣旨で事業を行う。
- ・ 令和元年度、1年間の検証結果を踏まえて、令和2年度に向けて、もう少し自由に、まち育て、地域資源を活かしていくような活動に使えるような、使い勝手の良い補助金を考えていく。

今後も、定住化促進に向けた事業を展開していきやすい事業となるよう、議会としても注視して行きます。

担当の委員会からの回答や報告等を記載しています

- ・ 定住化促進事業補助金、今後も継続してほしい
- ・ 一時的な補助金での対応ではなく、地域が望んでいる事業に取り組んでほしい

分類テーマ「9. 施策関連(定住化促進)」

総務常任委員会 がお答えします

【当局からの説明】

令和元年度 6 月補正予算を審査する際、当局から次のような説明がありました。

- ・ 人口減少地域定住化促進事業は平成30年度で終了し、一年間第三者の視点を入れながら検証する。
- ・ 令和元年度は、庁内のさまざまな議論・検証及び地域からの要望等も踏まえて、人口減少地域まち育て支援事業として、同様の趣旨で事業を行う。
- ・ 令和元年度、1 年間の検証結果を踏まえて、令和 2 年度に向けて、もう少し自由に、まち育て、地域資源を活かしていくような活動に使えるような、使い勝手の良い補助金を考えていく。

今後も、定住化促進に向けた事業を展開していきやすい事業となるよう、議会としても注視して行きます。

【（参考）人口減少地域定住化促進事業】

平成26年度から平成30年度まで、平成 3 年の市町村合併時と比較して、人口減少している地域（立花、更木、黒岩、口内、稲瀬、和賀、岩崎の 7 地区）において、地域の就労の場の創出や、U・I ターン促進に関する事業、交流人口の増加に関する事業などを助成してきました。

平成26年度	NPO 法人（グリーンツーリズム受け入れに関する事業）／口内（ふるさとサポーター発掘事業）
平成27年度	黒岩（U I J ターン希望者受け入れに関する事業）／口内（ふるさとサポーター発掘事業）／和賀（就労の場創出に関する事業）
平成28年度	更木（就労の場創出に関する事業）／和賀（就労の場創出に関する事業）／岩崎（定住化促進事業）／立花（子育て応援に関する事業）／黒岩（U I J ターン希望者受け入れに関する事業）
平成29年度	立花（子育て応援に関する事業）／黒岩（U I J ターン希望者受け入れに関する事業）／岩崎（定住化促進事業）
平成30年度	立花（子育て応援に関する事業）／口内（ふるさとサポーター発掘事業）／岩崎（定住化促進事業）

- ・事業を推進する職員を増す。民間のコーディネーターを増やす。センター職員を増員する。
- ・地元の講師を発掘するべき。リーダーとなる若者を育てる

分類テーマ「5. 地域、ひと」

総務常任委員会 がお答えします

- 北上市では、まちづくりをリードする人材の育成のため、様々な事業を行っています。令和元年度の政策提言に係る調査研究において市当局からは、市主催の地域づくり講座、北上市自治組織連絡協議会自主事業、交流センター職員研修等の各地区の人材育成に向けた研修等を実施しているほか、北上市市民活動情報センターによる各種支援等を行っているとの説明がありました。
- 議員から、「コミュニティリーダーと言った場合に、交流センターの職員は業務で手一杯なので、交流センター職員以外の人を対象とした取り組みはあるか。」との質疑があり、市当局からは「市民活動情報センターで開催している講座等は、広く一般市民を対象として実施している。確かに交流センターの職員は様々な研修を受けられるが、それ以外の人を対象とした地域リーダーとなるための取り組みは弱いかもしれない。」との答弁がありました。
- また、議員から「地域の将来を考える際は、学生も積極的に入れて欲しい。学生が自分たちのために検討することによって、地域に残ってくれるということもあると思うので、そういった場作りを市にはやっていただきたい。」との意見があり、市当局からは「地域計画の説明会でそのことをお話ししている。20年後、30年後地域づくりを担っている人たちに、色んな世代・業種・職種の方にぜひとも検討して欲しいと伝えている。」との答弁がありました。

なお、総務常任委員会では、地域における人材育成が重要と考え、令和元年の政策提言のテーマを北上市総合計画における施策「6-1-3まちづくりをリードする人材の育成」としており、議会として、人材育成に必要な施策を提言し、その後の市の施策を注視して行きたいと思います。

- ・ほかの自治体より子どもの医療費が高い
- ・所得制限はなくしてほしい

分類テーマ「1、教育、福祉、子育て」

教育民生常任委員会 がお答えします

- 北上市の『子ども医療費給付』は、平成30年8月から県内に先駆けて対象年齢の上限を12歳から18歳に拡大し、対象年齢の範囲は県内でもトップの水準となっております。
- 一方で、北上市では所得制限があるため、すでに所得制限を撤廃している他自治体と比べると給付の対象範囲は狭い状況です。
- 所得制限について、令和元年6月の教育民生常任委員会において、委員から「所得制限の基準額を引き上げる考えはないか。」との質疑があり、市当局からは「扶助のための施策であり、全員が給付対象となるものではないと現時点では考えているが、検討は続けていきたい。」との答弁がありました。
- また、令和元年9月の一般質問において、議員から「子どもの医療費助成を拡充し、所得制限の撤廃や、自己負担額のさらなる軽減の考えはないか。」と質問しております。それに対し、市当局からは「医療費の給付制度は低所得世帯への福祉施策が起点であり、現時点では所得制限を撤廃することは考えていない。自己負担額についても、平成30年8月から従来の半額（月額で1レセプトあたり、外来は1,500円→750円、入院は 5,000円→2,500円）に引き下げており、これ以上の引き下げも今のところ考えていない。」との答弁がありました。

北上市議会としては、平成30年3月に「子どもの医療費助成の拡充を求める意見書」を国及び政府関係機関に提出しました。全国の市長たちで構成される全国市長会においても、子どもの医療費助成制度は自治体間で競い合うべきものではなく、国の責任で全国一律の制度を創設すべきであるとして、国に対して要望活動を行っています。

・インフルエンザ予防接種の補助があるとよい

分類テーマ「1、教育、福祉、子育て」

教育民生常任委員会 がお答えします

- 北上市では低所得世帯の生後6月から12歳までの子どもを対象に、小児インフルエンザ予防接種費1回につき1,750円（期間内に2回まで）を助成していますが、この対象を拡大することや、公費負担を増額することについて、平成30年9月の一般質問、平成31年2月の一般質問では、議員が市当局の考えをただしています。
- これに対して市当局からは、「公費負担額は変えず、全ての世帯の子どもを対象とすると、3,500～3,600万円の財源が必要と試算している。他市の動向を確認しつつ、子ども・子育て施策課題の優先順位を考えながら検討する。」との答弁がありました。



- ・ 学童の料金が統一されておらず、保護者負担に地域格差がある
- ・ 学童は一括してNPOが運営した方がよい
- ・ 学童の支援員不足、処遇改善が必要

分類テーマ「1、教育、福祉、子育て」

教育民生常任委員会 がお答えします

- 学童保育所の運営について、平成31年2月の代表質問では議員から「学童保育所の運営、入所基準、保育料等の保護者負担などについて、今後の考え方はどうか。また、支援員の配置基準についての考え方はどうか。」との質問があり、市当局からは「学童保育所における保護者負担や入所基準の公平性については、学童保育所の運営主体がそれぞれの実情に応じ決定しており、今後標準的な事業の明確化と保護者負担や入所基準のあり方を検討していく。支援員の配置基準については、今のところ児童の安全確保を最優先するため、現行の条例による基準を維持し、質の高い放課後児童健全育成事業を推進していく。」との答弁がありました。
- また、北上市では令和2年度から市内の学童保育所を段階的に指定管理者制度に移行することとしており、既存の黒沢尻北学童保育所のほか、黒沢尻東、黒沢尻西、飯豊、江釣子の各学童保育所が移行の対象となります。その他の学童保育所については、各運営主体に説明・協議していくとしています。指定管理者制度の対象となる学童では保育料が統一されるほか、学童保育所の建物が行政財産に位置付けられるため、市の責任で修繕・改修を行い、将来に渡って管理していくこととなります。
- 指定管理者制度への移行について、令和元年9月の教育民生常任委員会において、委員からは「指定管理となることで職員の処遇が低くなることはないか。」との質問があり、当局からは「指定管理者の指定に当たっては協定で定める期間中に必要な人件費や事務費を運営者に積算してもらうことになる。」との答弁がありました。

- ・子育て支援センターに大きい子ども（小学生）を連れて行けない
- ・屋内、屋外とも子どもが遊べる場所が少ない

分類テーマ「1、教育、福祉、子育て」

教育民生常任委員会 がお答えします

- 子育て支援センターには親子で自由に遊べるスペースである「遊びの広場」がありますが、未就学児を利用対象としているため、兄弟であっても小学生以上の子どもは利用できないルールとなっています。
- 北上市では、来年度末までにツインモールプラザ西館1・2階に保健・子育て支援複合施設の整備を進めています。この施設では、健康診査、健康相談や保健指導といった保健と健康づくりの拠点機能、母子保健に関する相談や指導を行う子育て世代包括支援センターの機能を持ちます。併せて、天候に関わらず子どもたちが遊べる施設として、1階から2階への吹き抜けを立体的に横断する大きな遊び場や、親子で読み聞かせなどができるスペースを設ける予定です。利用できる子どもの年齢なども含めた利用ルールについては、市当局が主催するトークイベントで出された意見なども考慮して検討することとなっています。



新施設外観イメージ

・バスなどを増やす

・おにまる号、もう少し細かく動いてほしい 他

分類テーマ「3、道路、(公共)交通」

産業建設常任委員会 がお答えします

- 公共交通の充実は当市の課題であり、これまで市当局では各種計画の策定や事業の実施に取り組んできました。平成29年には公共交通のマスタープランとして、あじさい都市きたかみ公共交通網形成計画を策定し、さらに具体的な実行計画として、あじさい都市きたかみ公共交通アクションプランを策定しました。
- これらの計画では、都市拠点と地域拠点を結ぶ拠点間交通の構築や、まちなかの路線バスの運行経路の見直しを行うとしており、平成31年に運行が開始された『おにまる号』（立花岩崎線）の運行もこうした計画により実施されたものです。
- 当市議会からは平成29年の9月に政策提言を行っており、市当局に対し、

- ① 既存乗合バスについては、利用実態・地域住民のニーズを勘案のうえ、さくらホール等の公共施設や都市部の個人病院が集合する地域等を目的地に含む経路の見直しを検討すること。
- ② コミュニティバスについては、各路線が市内を広くまわることに起因する乗車時間の長時間化及び自宅からバス停までの移動距離の負担等の課題があるため、これらの解消を含め利便性の向上を検討すること。
- ③ デマンド交通（乗り合いタクシーのように利用者の予約により運行する公共交通）に関しては、他市事例を参考、地域の取組を活かした利便性の高い乗り合いタクシーサービスの導入の可能性を検討すること。

の3点を求めました。

今後も本提言と市策定の計画を踏まえて、市の事業を注視していきます。

- ・ 農業のやり手がいなくなってしまった
- ・ 農業後継者がいない 他

分類テーマ「4、商業、産業、農業」

産業建設常任委員会 がお答えします

- 農業人口の減少は全国的な課題であり、当市も例外ではありません。市では、新たに農業をはじめの方への支援として、新規就農者へ経営が軌道にのるまでの間を支援する農業人材力強化総合支援事業のほか、既存の農家の生産性・付加価値向上を目的とした農業経営高度化支援事業（※1）や農産物ブランドアップ対策事業（※2）等を実施しているところです。
- このほか当局では、市内兼業農家を対象に『収益性の向上』、『新たな魅力創出による農地の維持と農村コミュニティの存続』への支援に近年取り組んでいます。
- 具体的には、平成30年度から兼業農家の収益創出・向上への新たな事業アイデアを募集するとともに、採択されたアイデアを実践しようとする者に補助金を交付する兼業農家チャレンジ支援事業に取り組んでいます。また、有機栽培に関心のある市民が参加するオーガニック・エコ推進研修会も行っています。

当市議会では、こうした取り組みが更に効果的に行われるよう、常任委員会での調査・検討を経て次の3点を市当局に提言しました。

市の支援施策を契機に、事業に取り組む兼業農家について、

- ① 相互に事例を報告し、意見交換を行う意見交換会の開催を通じて、兼業農家どうしの知見の共有及びコミュニティづくりを支援されたい。
- ② 事業効果の向上・新規事業の創出を目的とした、兼業農家どうしのマッチング支援を行われたい。
- ③ 事業へ取り組む兼業農家のようすをSNS等で発信し、兼業農家どうしの相互理解の支援、兼業農家以外の人々への活動内容のPRをされたい。

本提言が今後の事業に反映されるかも含め、今後の市の事業を注視していきます。

※1 農業経営高度化支援事業

大区画圃場整備を実施する地区の担い手育成・確保と農地の利用集積を目的に行う補助。生産性の向上に関しては、この事業のほかにも地域の中心経営体に農業用機械等の導入を支援する経営体育成支援事業費補助金等があります。

※2 農産物ブランドアップ対策事業

首都圏等で開催されるイベントで北上市産農産物のPR販売を行うもので、当市産のリンゴ・さといもなどが人気を博しています。

～ 市民と議会をつなぐ会に関するもの ～

☞ 広聴委員会の所管事項に関するご意見等のうち、以下の2点についてピックアップし、次のとおりお答えします。

1、つなぐ会の周知について

つなぐ会の開催自体や、テーマについて周知が不足しているとのご意見をいただきました。議会としても、現在の市ホームページや議会だよりでの周知に加え、各地区の交流センターだよりや回覧板、コミュニティFM等でも周知いただけるよう、各媒体のスケジュール確認や、関係機関様への協力依頼を行ってまいりたいと考えています。

2、若い世代の参加について

議会としても、若い世代や子育て世代の参加率が低い傾向にあることは、課題として捉えています。そのうえで、今年度は市内専門学校や子育て世代を対象とした、つなぐ会を実施しました。

今後も、つなぐ会のテーマや実施方法の研究に努め、若い世代の参加率が増えるよう取り組んでまいります。

